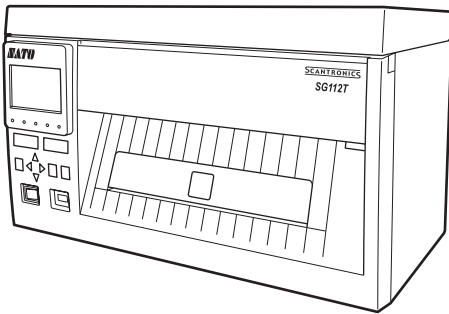


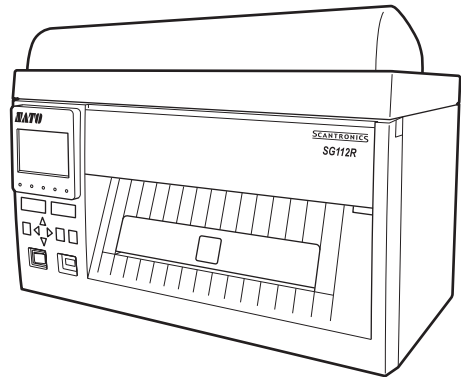


スキャントロニクス® SG112T/SG112R

取扱説明書



スキャントロニクス SG112T
感熱専用



スキャントロニクス SG112R
熱転写／感熱兼用

サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 **純正®** のご使用をお願いします。

株式会社サトー

プリンタの設置

用紙・カセット

動かしてみよう

あれ？どうしたのかな

オプション

お手入れ

基本仕様

アフターフォロー

はじめに

このたびは、当社スキャントロニクス SG112T/SG112R（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

本書は、はじめて本プリンタをお使いになる方に、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を理解し、正しくお使いください。

電波に関する注意事項

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合承認を受けています。したがって本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できます。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- ・本プリンタを分解 / 改造すること
- ・本プリンタに貼ってある証明ラベル（シリアルシール）をはがすこと

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

- ・電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺

本プリンタの使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本プリンタを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本プリンタから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、最寄りの販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡頂き、混信回避のための処理など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、本プリンタから移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、最寄りの販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。



“Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。
弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

2.4 FH 1

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH - SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

ご 注 意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーへご連絡ください。
- (4) この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本書に記載されている情報の利用に起因する損害または特許権その他の侵害に関しては、当社は一切その責任を負いません。

目的別検索ガイド

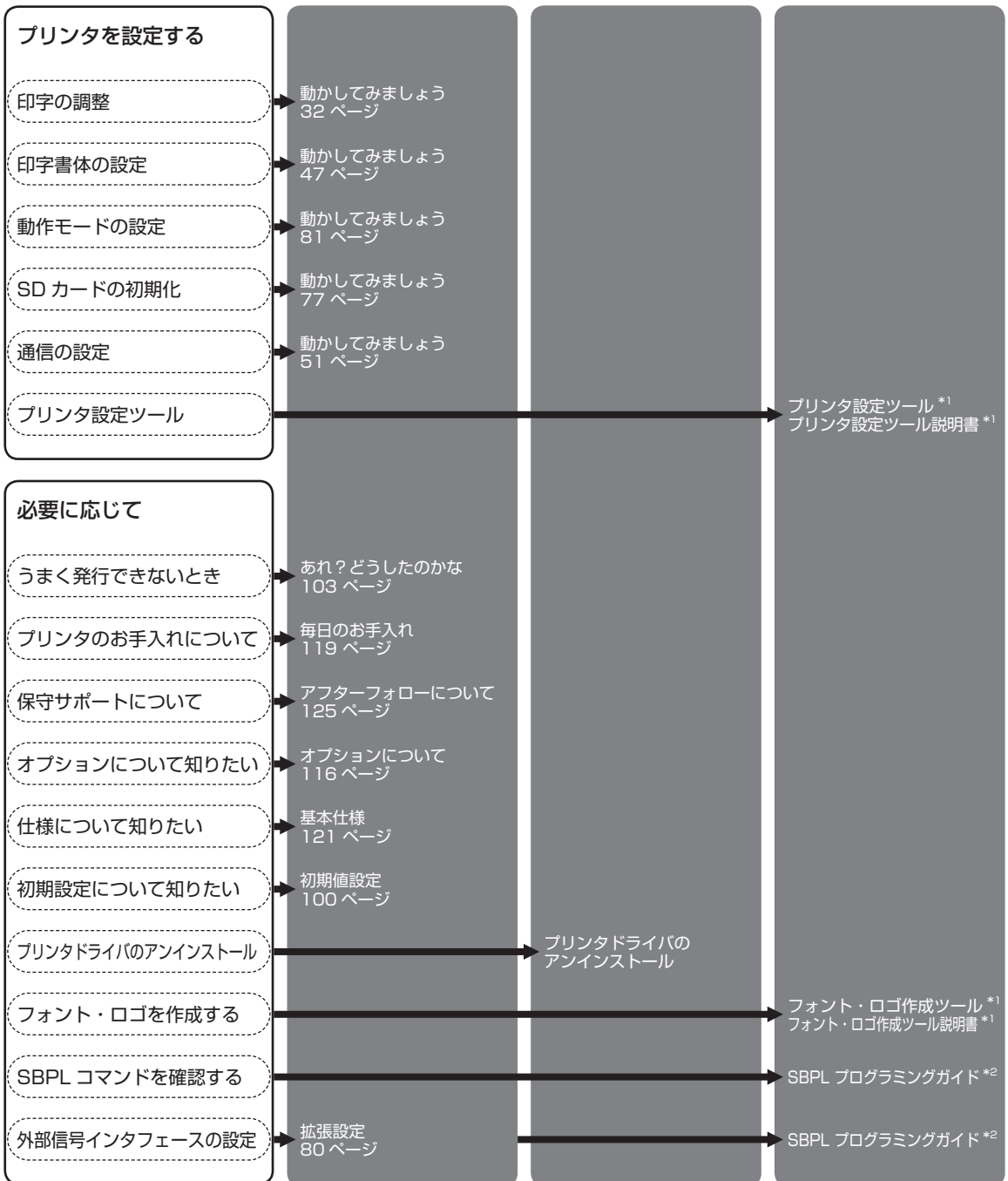
取扱説明書

セットアップガイド

	取扱説明書	セットアップガイド	
セットアップする			
プリンタを安全に使うために	安全にお使いいただくために 5 ページ		
プリンタの設置	設置上のご注意 8 ページ		
各部の名称の確認	各部の名称 12 ページ		
カーボンリボンのセット	カーボンリボンのセット 20 ページ		
用紙のセット	用紙のセット 24 ページ		
プリンタの通信設定をする			
USB インタフェースの設定	各インタフェースの設定 57 ページ		
RS-232C インタフェースの設定	各インタフェースの設定 58 ページ		
IEEE1284 インタフェースの設定	各インタフェースの設定 61 ページ		
LAN / 無線 LAN インタフェースの設定	各インタフェースの設定 63 ページ	LAN インタフェースの設定 無線インタフェースの設定	
ネットワークユーティリティ			プリンタ設定ツール ^{*1} プリンタ設定ツール説明書 ^{*1}
Bluetooth インタフェースの設定	各インタフェースの設定 69 ページ		
通信ケーブルを接続する			
	インタフェースの接続 17 ページ		
プリンタドライバをインストールする			
USB インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB)	プリンタドライバ説明書 ^{*1}
RS-232C インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書 ^{*1}
IEEE1284 インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書 ^{*1}
LAN インタフェースのインストール		プリンタドライバの インストール方法 (USB 以外)	プリンタドライバ説明書 ^{*1}
バージョン一覧を確認する			プリンタドライババージョン一覧表 ^{*1}

取扱説明書

セットアップガイド



*1 「プリンタ設定ツール」「プリンタ設定ツール説明書」「プリンタドライバ説明書」「プリンタドライババージョン一覧表」「フォント・ロゴ作成ツール」「フォント・ロゴ作成ツール説明書」は、<https://www.sato.co.jp/support/> から本プリンタを選択してダウンロードしてください。

*2 SBPL プログラミングガイドについては販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

目次

目的別検索ガイド	2
1 安全にお使いいただくために	5
2 設置上のご注意	8
1. 設置上のご注意	8
2. 設置スペースについて	9
3 同梱品の確認	10
4 各部の名称	12
5 電源を入れてみましょう	16
6 カーボンリボンのセット	20
7 用紙のセット	24
8 動かしてみましょう	32
1. 動かしてみる前に	32
2. オンライン操作	37
3. オフライン操作	37
4. 発行中の印字データキャンセル操作	38
5. 調整モード操作	39
6. ブザー音量調整操作	40
7. エラーモード操作	40
8. 設定モードメニュー操作	41
9. プリンタ設定	42
10. 通信設定	51
・各インタフェースの設定	57
11. メモリモード	73
12. 拡張設定	80
13. HEX ダンプ印字操作	92
14. 本体情報モード	94
15. テスト印字モード操作	95
9 初期値設定	98
10 あれ？ どうしたのかな	103
11 オプションについて	116
12 毎日のお手入れ	119
13 基本仕様	121
14 アフターフォローについて	125

1 安全にお使いいただくために

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。

プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

- プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



注意

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。



感電注意



高温注意



ケガに注意



手を挟まないよう注意



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



分解禁止



火気厳禁



濡れ手禁止



接触禁止



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。










電源プラグを抜く



アースを接続する

警告

 <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>■指定以外の電圧は使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された電源電圧 (AC100 ~ 240V) 以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">禁止</p>	<p>■オプションケーブルやスキャナの接続について</p> <ul style="list-style-type: none"> オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を切ってからおこなってください。電源をONにしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。
	<p>■内部に異物を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの開口部 (ケーブルの出口やSDカートリッジ取付口など) から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">分解禁止</p>	<p>■分解しないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご依頼ください。
	<p>■電源コードの取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 本プリンタに付属の電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。 	 <p style="text-align: center;">濡れ手禁止</p>	<p>■濡れた手で操作しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。
		 <p style="text-align: center;">接触禁止</p>	<p>■カッタに手やものを入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ケガをするおそれがあります。
	<p>■落としたり、破損したときは</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">アースを接続する</p>	<p>■必ずアース線を接続してください</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
	<p>■異常な状態で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> 万一、プリンタから煙がでていたり、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。 	 <p style="text-align: center;">火気厳禁</p>	<p>■プリンタ清掃液の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

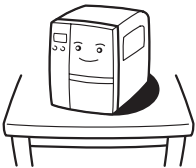
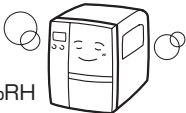
⚠ 注意

 <p style="text-align: center;">注意</p>	<p>■持ち運び</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。 プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタに指や手を挟まないように注意してください。 <p>■電源コード</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。 	 <p style="text-align: center;">注意</p>	<p>■プリンタ清掃液の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> お客様が間違っただけで飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。 <p>■持ち運び時のコードの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。また、外部との接続線を外したことを確認してください。外さないまま移動すると、電源コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
	<p>■サーマルヘッドの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。 お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。 	 <p style="text-align: center;">高温注意</p>	<p>■サーマルヘッド（高温注意）</p> <ul style="list-style-type: none"> 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。
	<p>■SDカードの取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> SDカードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 直射日光の当たるところや暖房器具の近くに置かないでください。 コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。 高温多湿のところに保管しないでください。 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。 	 <p style="text-align: center;">手を挟まないよう注意</p>	<p>■カバー</p> <ul style="list-style-type: none"> カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。 <p>■用紙のセット</p> <ul style="list-style-type: none"> ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。
		 <p style="text-align: center;">電源プラグを抜く</p>	<p>■長期間ご使用にならないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。 <p>■お手入れ・清掃のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

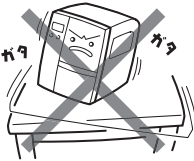
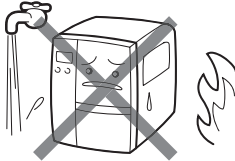
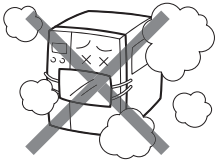
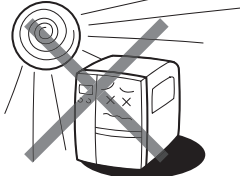
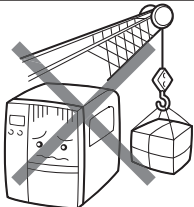
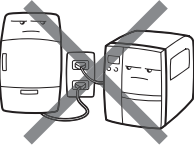
2 設置上のご注意

1. 設置上のご注意

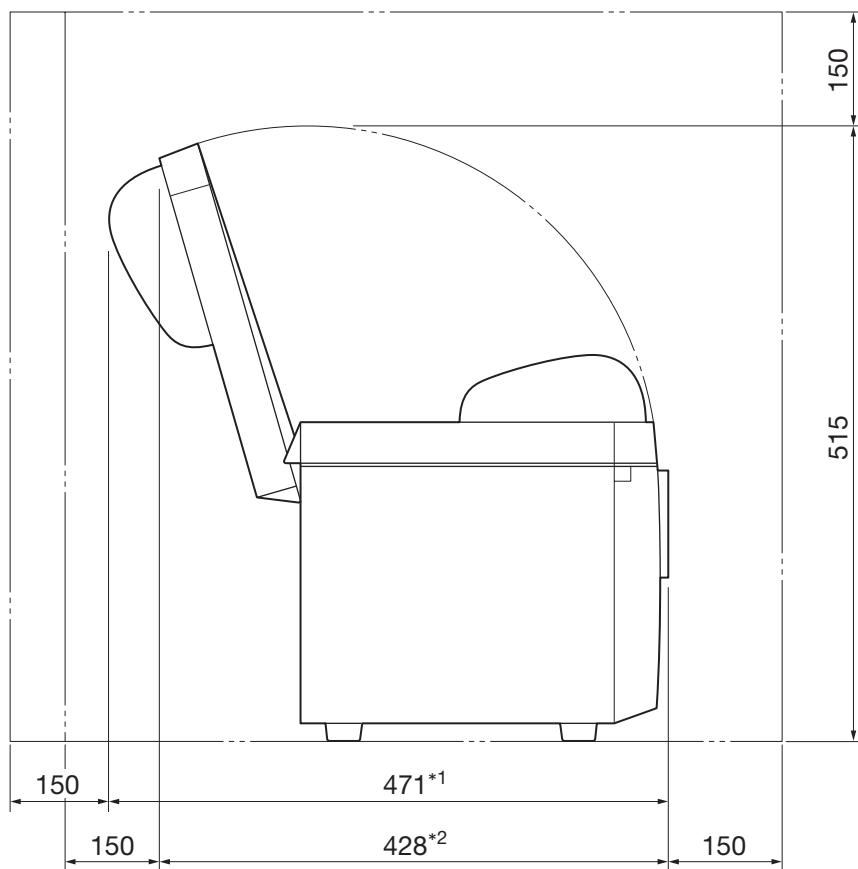
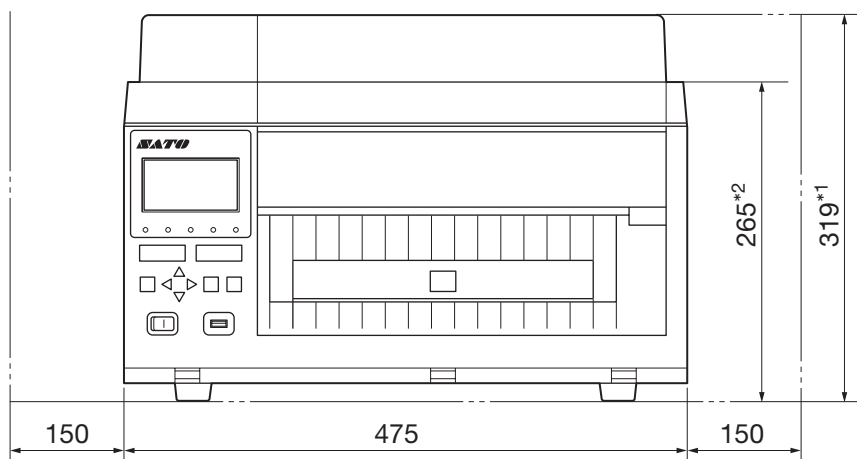
本プリンタは、次のような場所に設置してください。

<p>水平で安定した場所</p>	<p>以下の温度と湿度の場所</p>
	<p>温度: 5~40℃</p> <p>湿度: 30~80%RH</p> 

本プリンタは、次のような場所に設置しないでください。

<p>振動のある場所</p>	<p>高温・多湿の場所</p>	<p>ホコリの多い場所</p>	<p>直射日光の当たる場所</p>
			
<p>ノイズの多い場所</p>	<p>電源変動の大きい場所</p>		
			

2. 設置スペースについて



*1 SG112R(熱転写/感熱用)

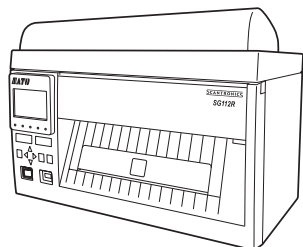
*2 SG112T(感熱用)

※ 単位はmmです。

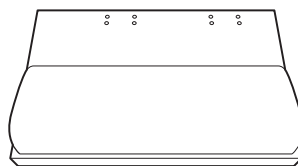
3 同梱品の確認

箱を開けたら、次の同梱品が揃っているか確認してください。

もし、足りないものがありましたら、購入された販売店またはディーラーまでお問い合わせください。



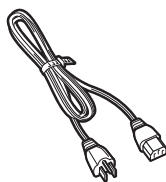
プリンタ
(イラストはスキヤントロニクスSG112R)



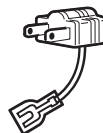
トップカバー^{*1}
(イラストはスキヤントロニクスSG112R用)



カーボンリボン巻取り用支管^{*2}



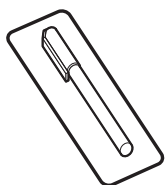
電源コード



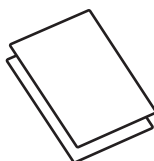
3極-2極
変換アダプタ



保証書



クリーニングペン

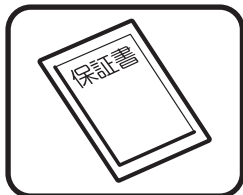


ダウンロードガイド
安全上のご注意

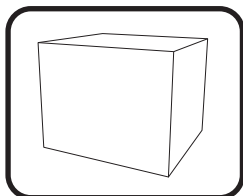
*1 トップカバーは、外した状態で同梱されております。

*2 カーボンリボン巻取り用支管はSG112Rのみ同梱されております。

▲保証書と箱は大切に



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



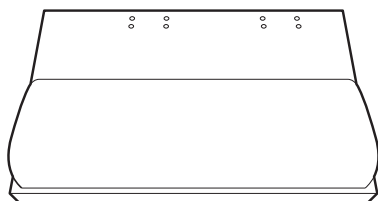
また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただけます。

本プリンタは、オンサイト保守にも対応しております。

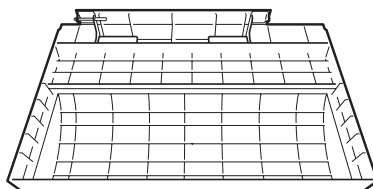
▲ トップカバーの取り付け

ご使用前に、トップカバーをプリンタ本体に取り付けます。

トップカバー（イラストはスキャントロニクス SG112R 用）

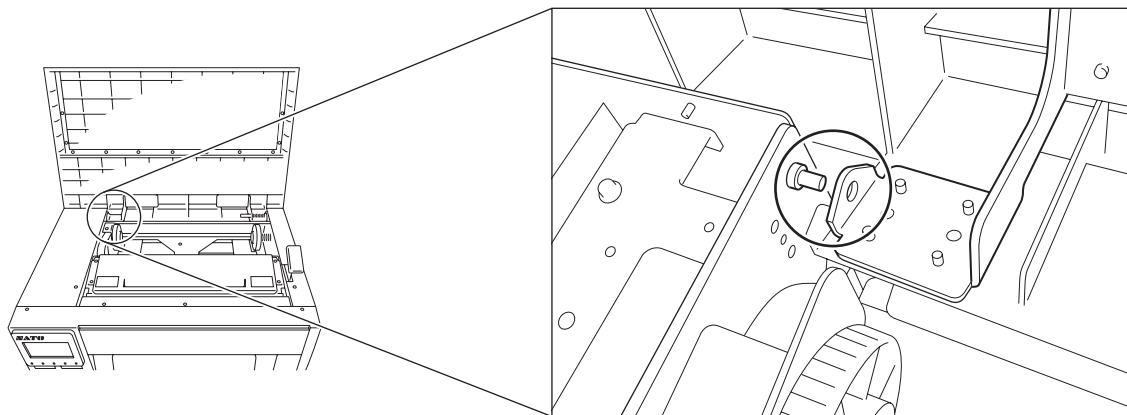


表

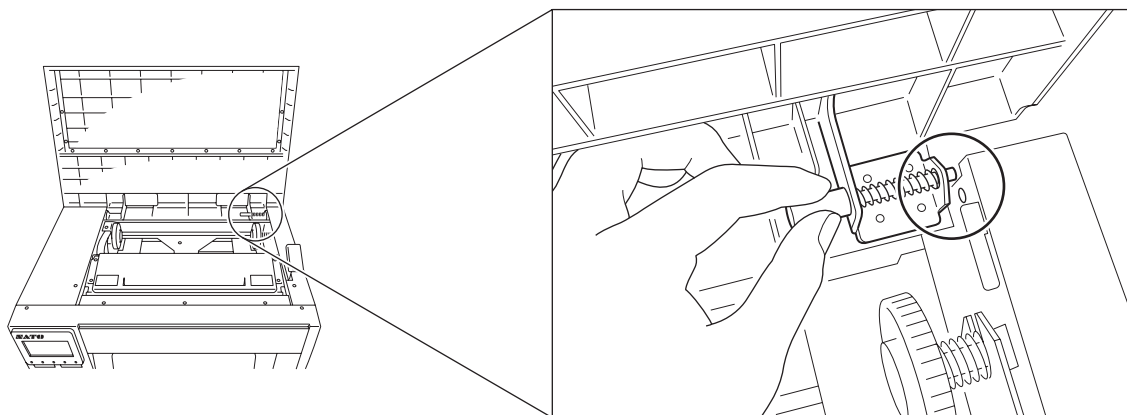


裏

1. 本プリンタ側のピンにカバーの穴を合わせます。



2. トップカバー側のピンを左に引き、ピンの先端を本プリンタの穴の位置に合わせます。



3. トップカバーのピンが本プリンタの穴に入ったことを確認します。

⚠ 注意

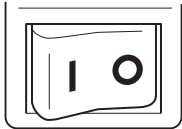
- プリンタをご使用になる前に、トップカバーを取り付けてください。

4 各部の名称

▲プリンタ本体

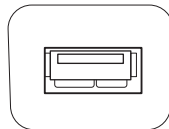
操作パネル部

メッセージを表示するディスプレイと操作をおこなう9つのキー、プリンタの状態を示す5つのLEDがあります。



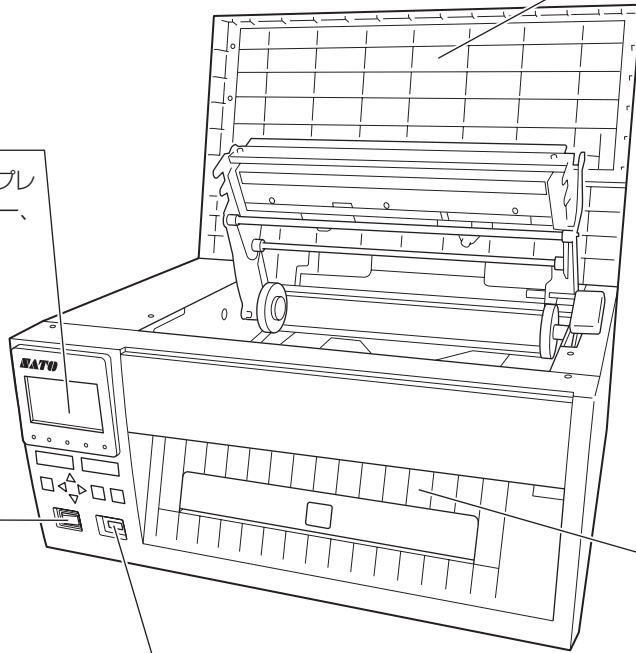
電源スイッチ

本プリンタの電源を入れるとき、切るときに使用します。
「|」側を押すと電源が入ります。
「○」側を押すと電源が切れます。

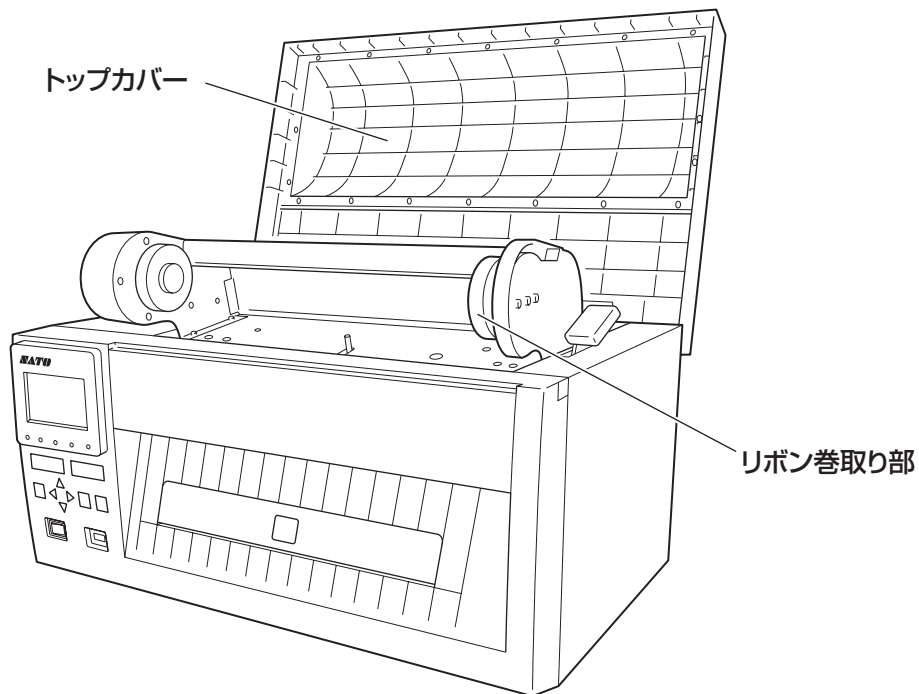


USBスロット(タイプA)

トップカバー

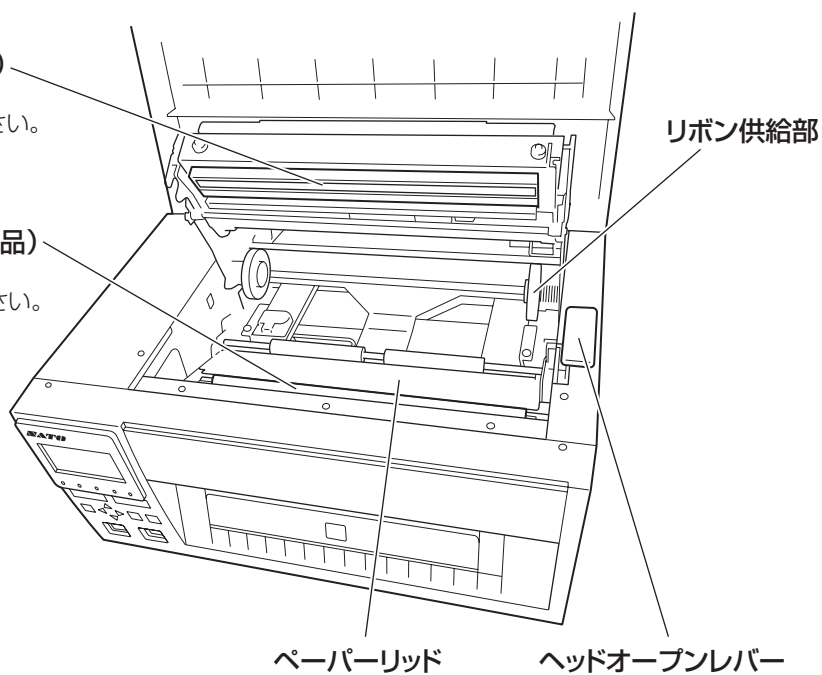


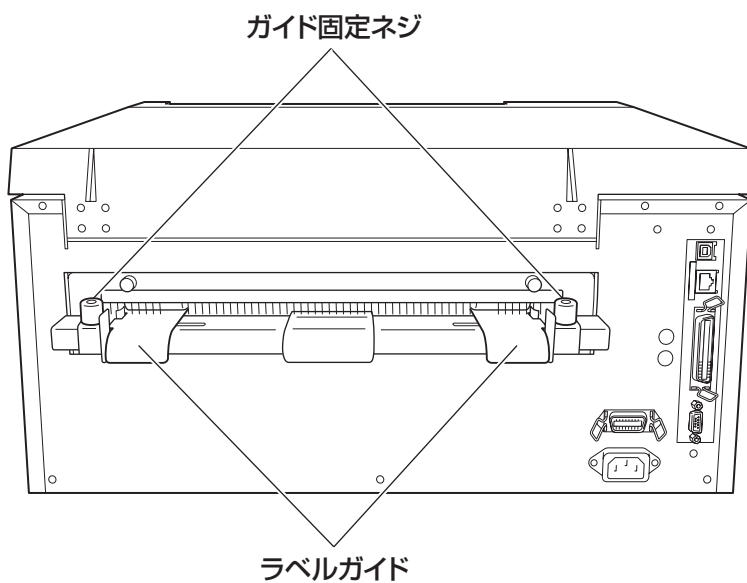
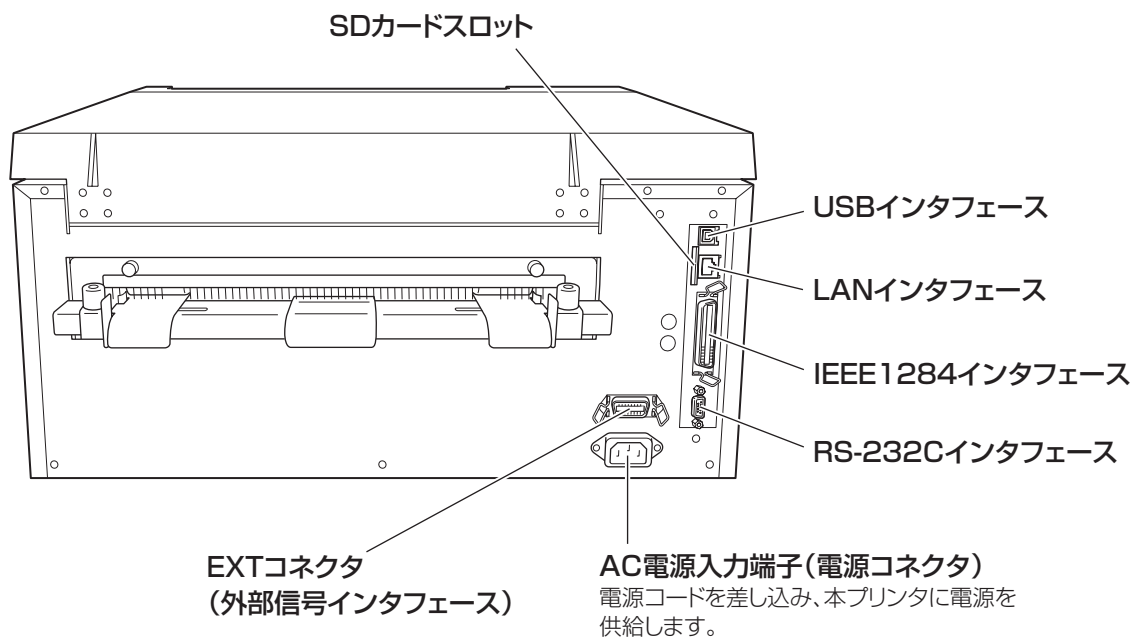
用紙排出口



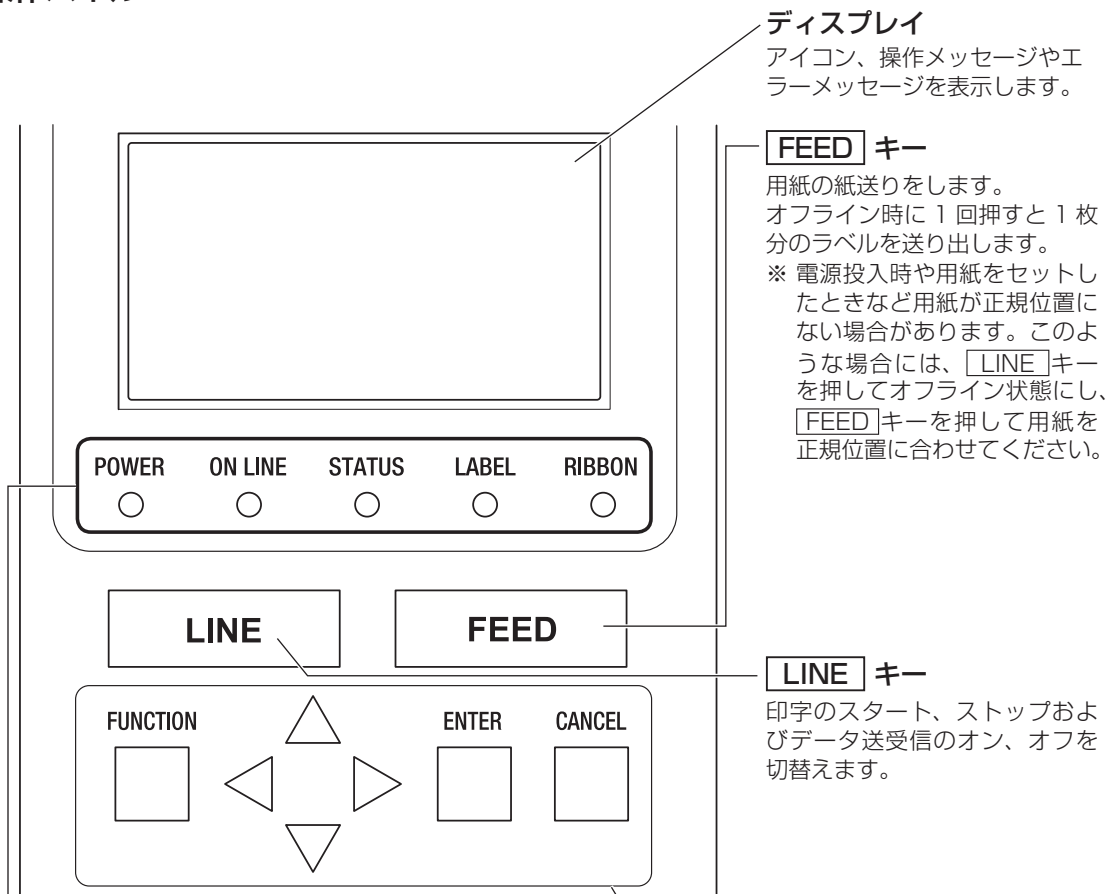
サーマルヘッド(消耗品)
用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れしてください。

プラテンローラー(消耗品)
印字した用紙を送ります。
定期的にお手入れしてください。





▲操作パネル



ディスプレイ
アイコン、操作メッセージやエラーメッセージを表示します。

FEED キー
用紙の紙送りをします。
オフライン時に1回押すと1枚分のラベルを送り出します。
※ 電源投入時や用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。このような場合には、**LINE**キーを押してオフライン状態にし、**FEED**キーを押して用紙を正規位置に合わせてください。

LINE キー
印字のスタート、ストップおよびデータ送受信のオン、オフを切替えます。

LED

プリンタの状態を表します。

- **POWER**
電源が入っているとき、点灯します。
- **ON LINE**
通信可能なとき、点灯します。
通信エラーのとき、点滅します。
- **STATUS**
エラーが発生したとき、点灯、点滅します。
- **LABEL**
用紙がなくなったとき、点滅します。
- **RIBBON**
カーボンリボンが残り少なくなったとき、点滅します。

操作キー

プリンタを動かすために必要な設定をします。

- **FUNCTION**
各設定モードで、モード選択画面に戻ります。
- **▲・▼・◀・▶**
各設定モードで、数値を入力、カーソルを移動します。
- **ENTER**
各設定モードで、設定した内容を決定します。
- **CANCEL**
印字データをキャンセルします。
各設定モードで、前の設定項目に戻ります。

5 電源を入れてみましょう

電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コードを接続する

⚠ 警告

- 必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。
- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。

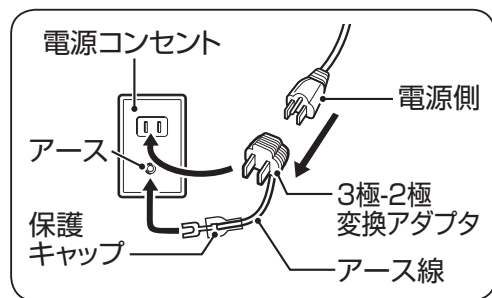
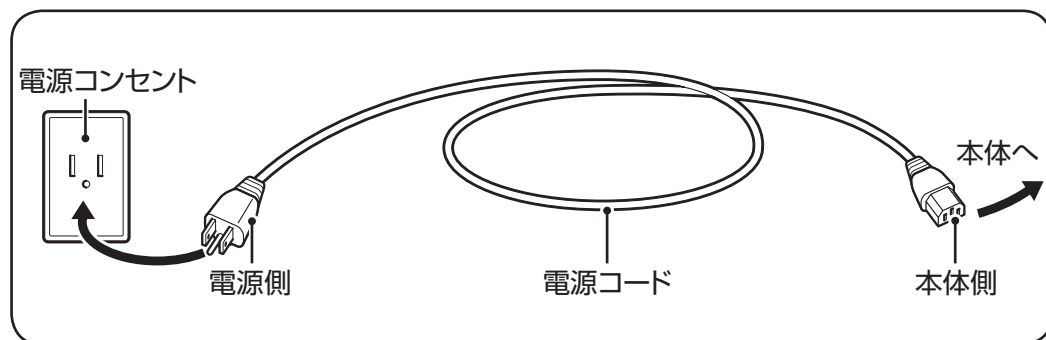
⚠ 注意

- 本プリンタに付属の電源コード、3極-2極変換アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

▲電源コンセントに電源コードを差し込みます

付属の電源コードのプラグ形は、3極タイプになっています。3本の足のうち1本がアース線になっています。

ご使用の電源コンセントが3極タイプの場合は、そのまま電源コードを差し込んでください。



電源コンセントが2極タイプの場合は、付属の3極-2極変換アダプタを使い、左図のように必ずアース線を接続してください。

3極-2極変換アダプタの保護キャップを外し、アース線をアース端子に接続してから差し込みプラグを接続してください。

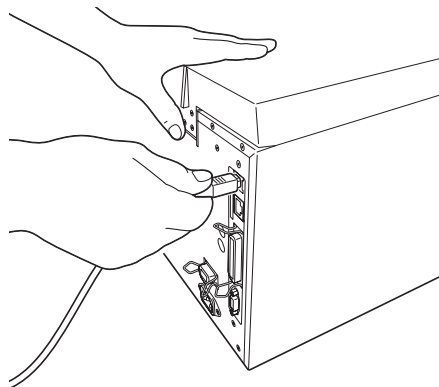
インターフェースケーブルを接続する

⚠ 注意

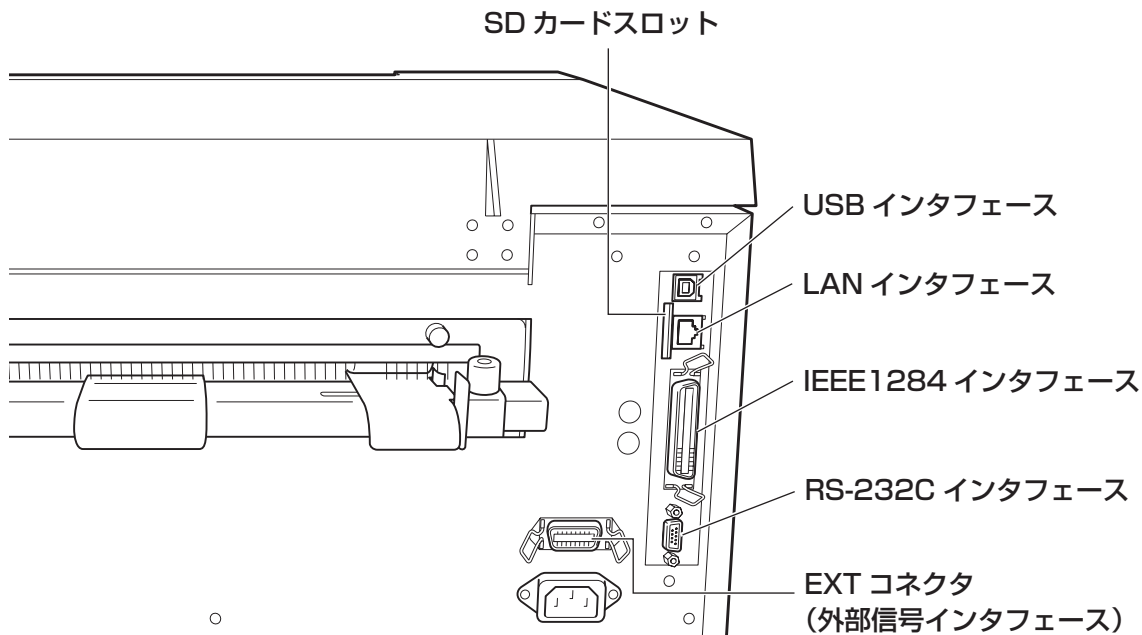
- インターフェースケーブルおよび SD カード、USB メモリを抜き挿しするときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。

インターフェースの規格に適合したケーブル
をご使用ください。

差し込む向きを確認してください。
本プリンタを片手で押さえて、しっかりと
差し込んでください。



▲インターフェースの位置



USB インタフェース

プリンタ背面の USB コネクタに USB ケーブルを接続してください。
USB の通信設定は、各インタフェースの設定 (☞ 57 ページ) をご覧ください。

RS-232C インタフェース

プリンタ背面の RS-232C コネクタに RS-232C ケーブルを接続してください。
RS-232C の通信設定は、各インタフェースの設定 (☞ 58 ~ 60 ページ) をご覧ください。

IEEE1284 インタフェース

プリンタ背面の IEEE1284 コネクタに IEEE1284 ケーブルを接続してください。
IEEE1284 の通信設定は、各インタフェースの設定 (☞ 61 ~ 62 ページ) をご覧ください。

LAN インタフェース

プリンタ背面の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続してください。
LAN の通信設定は、各インタフェースの設定 (☞ 63 ~ 68 ページ) をご覧ください。

無線 LAN インタフェース (オプション)

無線 LAN の通信インタフェースの通信設定は、各インタフェース設定 (☞ 63 ~ 68 ページ) をご覧ください。

EXT コネクタ (外部信号インタフェース)

プリンタ背面の EXT コネクタに外部信号インタフェースケーブルを接続してください。
外部信号インタフェースの設定 (☞ 87 ~ 88 ページ) をご覧ください。

Bluetooth インタフェース

Bluetooth の通信インタフェースの通信設定は、各インタフェースの設定 (☞ 69 ~ 72 ページ) をご覧ください。

SD カードスロット・USB スロット (タイプ A)

通信用のインタフェースではありません。SD カード^{*1} および USB メモリ^{*2} を使用して印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。
はじめて SD カードおよび USB メモリを使用する場合は、初期化してください。初期化については、メモリモード (☞ 73 ~ 79 ページ) をご覧ください。
プリンタ背面に SD カードスロット、プリンタ前面に USB スロットがあります。

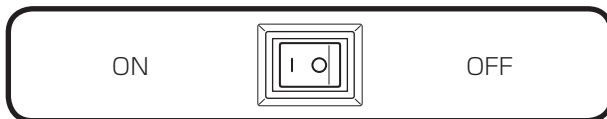
*1 SD カードはサトー純正品のご使用をお願いします。

*2 USB メモリのご使用については、オプション (☞ 116 ページ) をご覧ください。

本プリンタの電源を入れてみましょう

警告

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。



プリンタ本体前面の電源スイッチを入れます。「I」 と書いてある側を押してください。

電源を入れるとディスプレイに「オンライン」と表示されます。



本プリンタの電源を切りましょう

本プリンタが正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。

▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

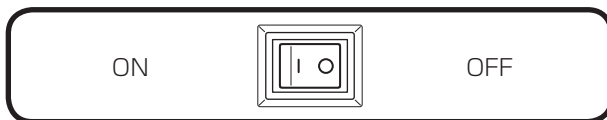
本プリンタの電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。ディスプレイに次のように「オンライン」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



LINE キーを押して、オフライン状態にします。ディスプレイに「オフライン」と表示されます。



オフライン状態になっていることを確認して、プリンタ本体前面の電源スイッチの「O」と書いてある側を押してください。

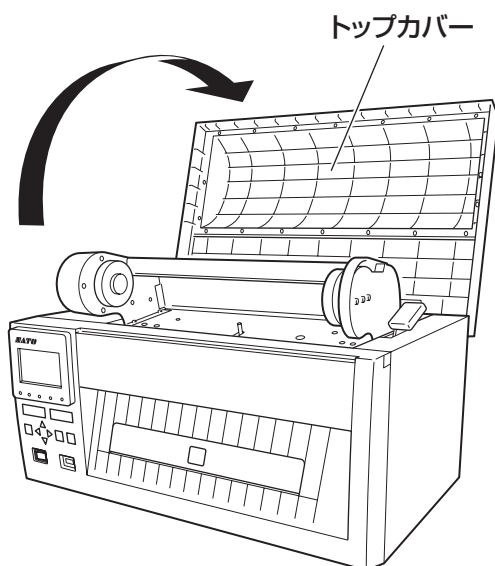


6 カーボンリボンのセット

カーボンリボンのセット (SG112Rのみ)

カーボンリボンのセットは、スキヤントロニクス SG112R のみ対象となります。
本プリンタには、サトーの純正カーボンリボンのご使用をお願いします。
カーボンリボンを設定します。

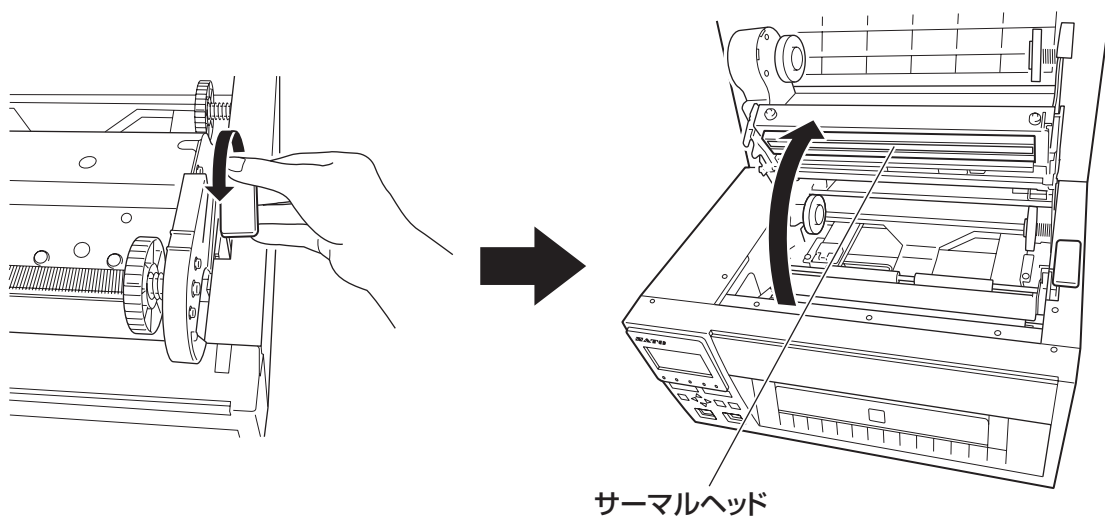
1. トップカバーを開けます。



⚠ 注意

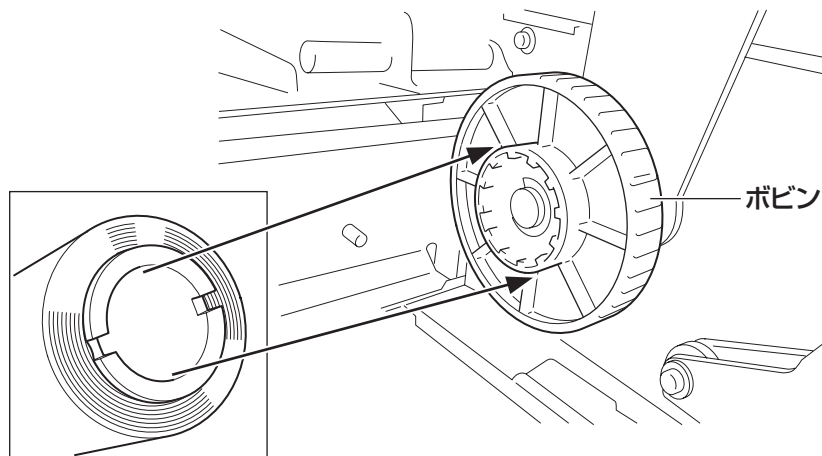
- トップカバーは、上部までしっかり開けてください。

2. ヘッドオープンレバーの奥側を下から持ち上げてロックを外し、サーマルヘッドを開きます。

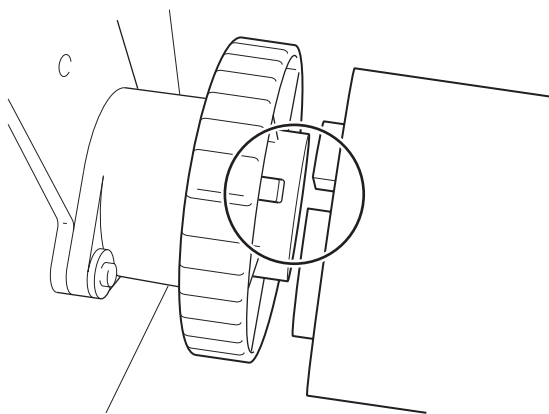


3. リボン供給部にカーボンリボンをセットします。

- ① プリンタ正面右側のボビンにカーボンリボンを合わせてセットしてください。巻き方向はプリンタ正面左側のサイドカバーに貼られているルートステッカをご覧ください。

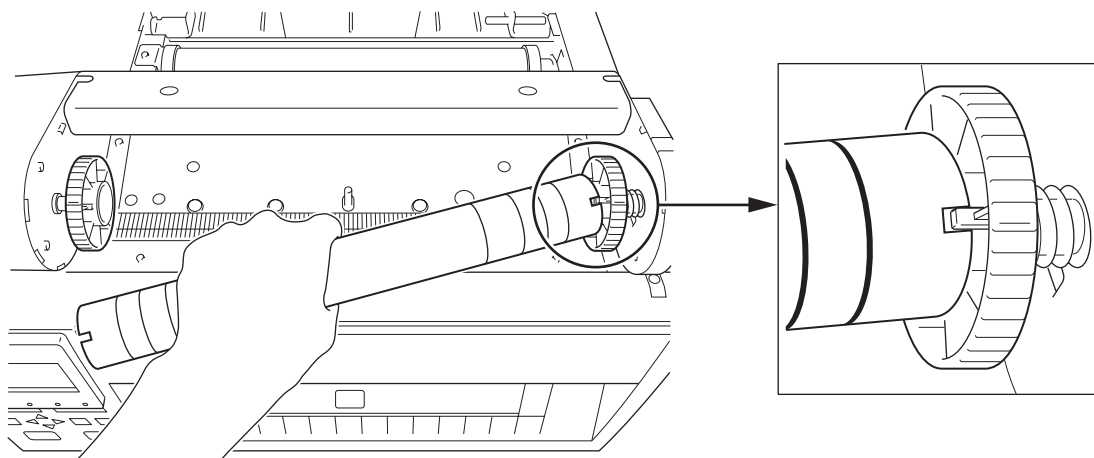


- ② ①でセットしたリボンを右側に押しながら、左側のボビンの凸部分にカーボンリボンの凹部分を合わせてセットしてください。

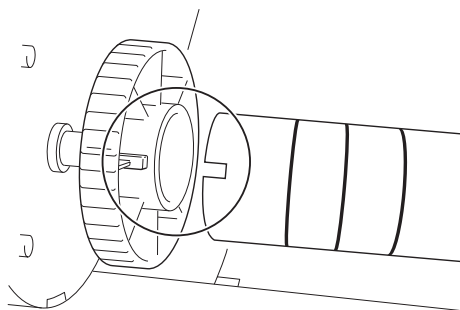


4. リボン巻取り部に巻取り用支管をセットします。

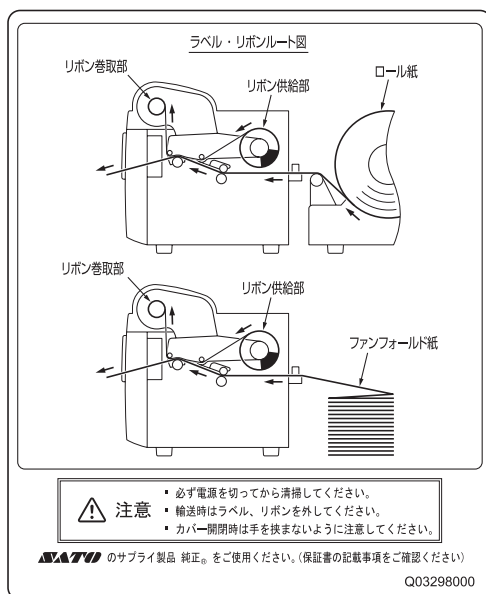
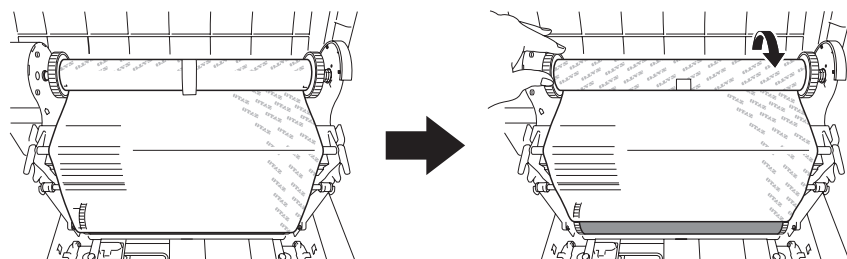
- ① プリンタ正面右側のボビンの凸部分に巻取り用支管の凹部分を合わせてセットしてください。



- ② ①でセットした巻取り用支管を右側に押しながら、左側のボビンの凸部分に巻取り用支管の凹部分を合わせてセットしてください。



5. カーボンリボンをリボン供給部からサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部へ通します。リボン巻取り部の巻取り用支管にカーボンリボンを巻きつけます。カーボンリボンのセットは、トップカバーを開け、プリンタ正面左側のサイドカバーに貼られているルートステッカをご覧ください。



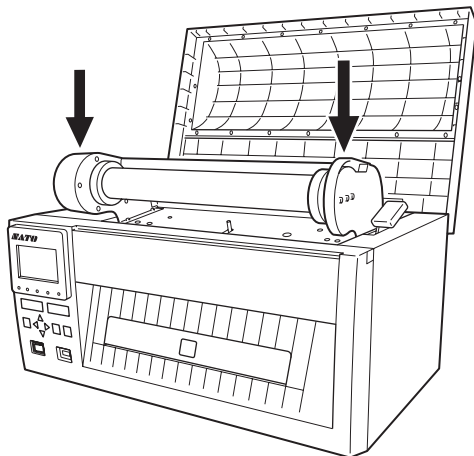
注意

- 印字直後はサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意してください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- カーボンリボンの交換は、ケガをしないように注意してください。

6. 用紙をセットします。

用紙のセットをご覧ください (☞ 24 ~ 27 ページ)。

7. 矢印の部分を押ししてサーマルヘッドを閉じます。カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

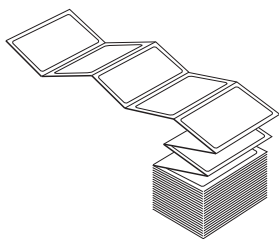


7 用紙のセット

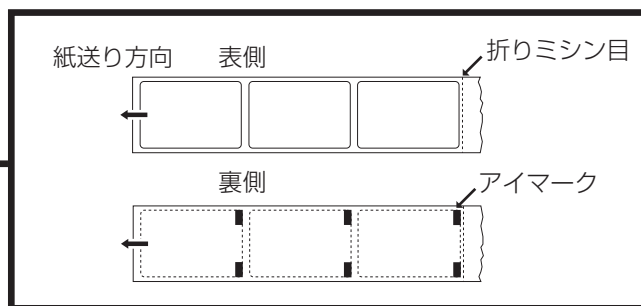
本プリンタは、ファンフォールド紙・ロール紙に印字できます。
 ファンフォールド紙とロール紙では、用紙のセット方法が違います。
 本プリンタには、サトーの用紙“純正”のご使用をお願いいたします。
 用紙の保管は、直射日光、高温、多湿、異常乾燥などを避けてください。

リボン
の
カセット

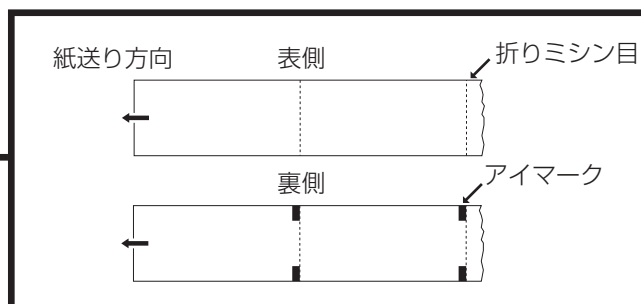
ファンフォールド紙



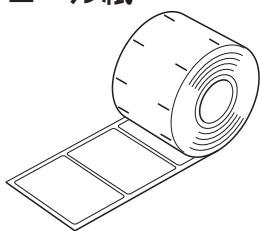
ラベルタイプ



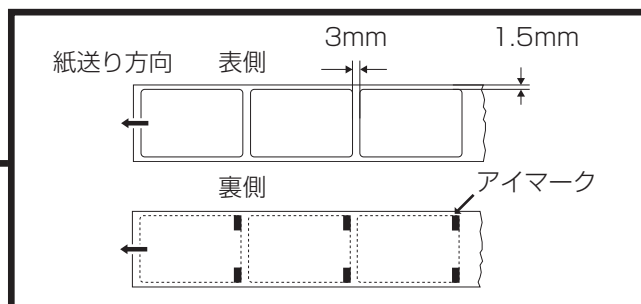
糊なしタイプ



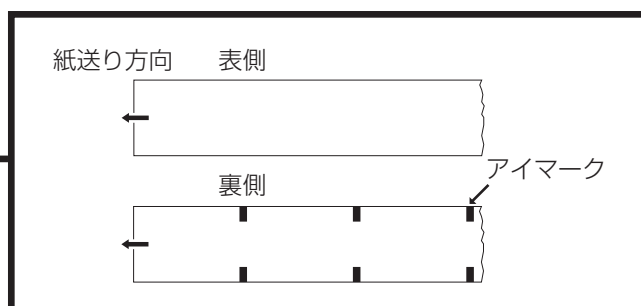
ロール紙



ラベルタイプ

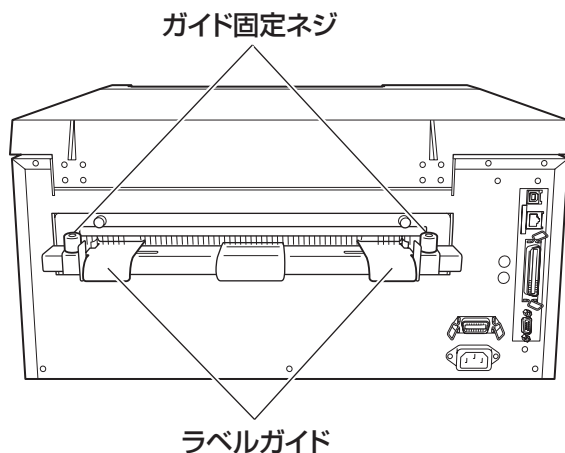


糊なしタイプ

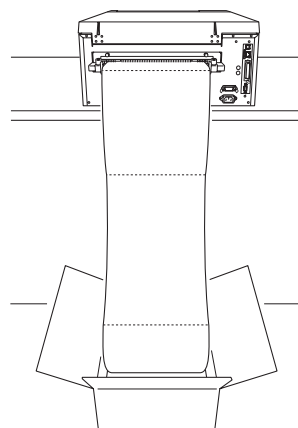


ファンフォールド紙のセット

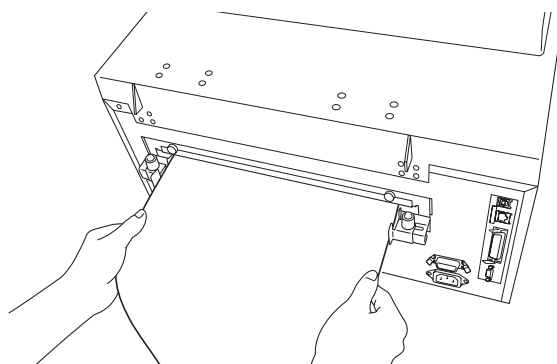
1. プリンタ背面のガイド固定ネジをゆるめます。
両手でラベルガイドを左右に動かして用紙の幅に合わせます。
ガイド固定ネジをしめてラベルガイドを固定します。



※ 用紙がまっすぐ入るように用紙を置いてください。



2. 本プリンタの電源を入れます。
用紙は両手でセットしてください。
ラベルガイドに沿って用紙をプリンタ背面から差し込むと、プリンタは用紙を自動で給紙します。
給紙完了後、**LINE** キーを押してオンライン状態にします。これで用紙のセットは終了です。

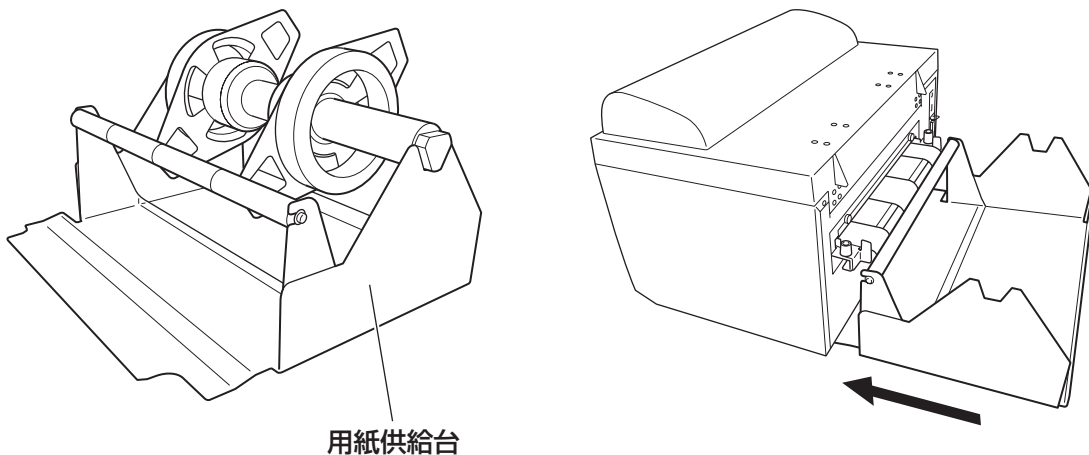


※ 自動給紙機能は、用紙厚が 0.12mm 以上の用紙に対応しています。0.12mm 未満の用紙をご使用の場合は、トップカバーとサーマルヘッドを開け、用紙をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に通し、サーマルヘッドを閉じてください。

ロール紙のセット

※ ロール紙を使用する場合は、外部供給装置 UWG112（オプション）が必要になります。

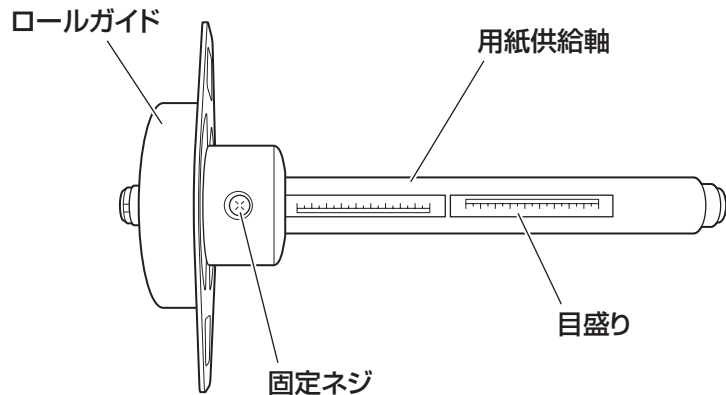
1. 本プリンタに外部供給装置 UWG112（オプション）をセットします。
用紙供給台の先端を本プリンタにはめ込みます。



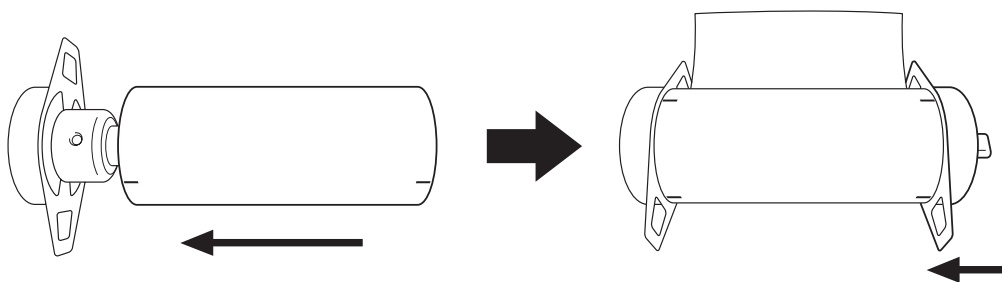
⚠ 警告

- 外部供給装置 UWG112（オプション）は、まっすぐに本プリンタの奥までしっかりとはめ込んでください。

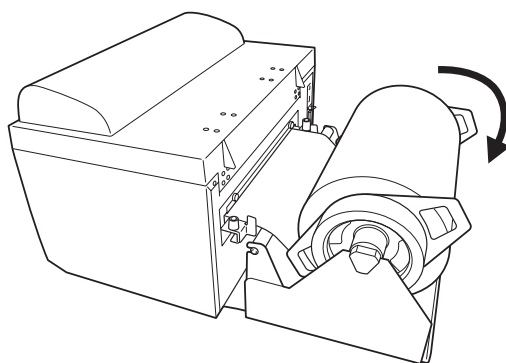
2. 用紙供給軸の片側の固定ネジを緩めます。用紙幅に目盛りを合わせて、固定ネジを締めます。



3. 用紙供給軸にラベルを通し、もう一方のロールガイドを挿し込みます。



4. 3でセットしたラベルを外部供給装置 UWG112 (オプション) に用紙をセットします。



5. プリンタの電源を入れます。

本プリンタに用紙を挿し込むと自動で用紙をフィードします。

フィード完了後、**LINE**キーを押してオンライン状態にします。これで用紙のセットは終了です。

※ 自動給紙機能は、用紙厚が 0.12mm 以上の用紙に対応しています。0.12mm 未満の用紙をご使用の場合は、トップカバーとサーマルヘッドを開け、用紙をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に通し、サーマルヘッドを閉じてください。

※ 詳細は、外部供給装置 UWG112 (オプション) の取扱説明書をご覧ください。

カッタ仕様 (オプション) の場合

ラベルをセットした後、必要に応じて簡易トレイを引き出してください。

スタックできるラベル

長さ：40～117mm (43～120mm)

幅：128～297mm (131～300mm)

最大積み高さ：5mm

※ () は台紙サイズ



用紙の停止位置調整

ラベルの停止位置やラベルのカット位置が適切でない場合には、調整モード画面で位置を調整します。

停止位置の調整

1. 本プリンタがオンライン状態のとき、**LINE**キーを押してオフライン状態にします。



2. 本プリンタがオフライン状態のとき、**▼**キーを押すと印字位置調整画面に変わります。印字位置調整画面で**ENTER**キーを押すとオフセット調整画面に変わります。



3. **▲**・**▼**キーで設定値を変更します。

設定範囲は、- 3.75 ~ + 3.75mm です。

“+”と“-”は、移動方向です。

“+”：紙送り方向に対して後

“-”：紙送り方向に対して前

▲・**▼**キーを押すと 0.25mm 増減します。

ENTER キーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。

調整モードを終了する場合は、印字濃度調整画面で **CANCEL** キーまたは **FUNCTION** キーを押してください。

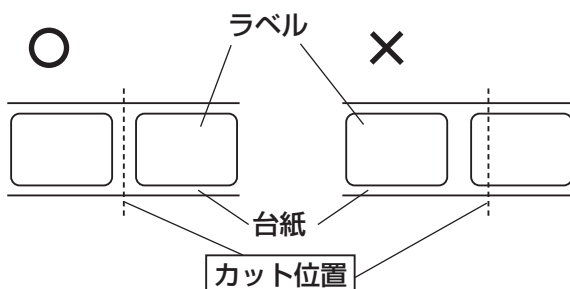
オフライン画面に変わります。



カット位置の調整

▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間（台紙のみの部分）が正規のカット位置になります。



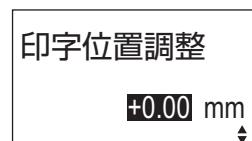
カット位置が正規位置にない場合、調整モード操作のオフセット調整画面で調整します。ラベルのカットは、のりがカッター刃に付いて切れを悪くしますので、絶対に避けてください。

▲カット位置調整

1. 本プリンタがオンライン状態のとき、**LINE**キーを押してオフライン状態にします。



2. 本プリンタがオフライン状態のとき、**▼**キーを押すと印字位置調整画面に変わります。印字位置調整画面で**ENTER**キーを押すとオフセット調整画面に変わります。



3. ▲・▼キーで設定値を変更します。

設定範囲は、- 3.75 ~ + 3.75mm です。

“+”と“-”は、移動方向です。

“+”：紙送り方向に対して後

“-”：紙送り方向に対して前

▲・▼キーを押すと 0.25mm 増減します。

[ENTER] キーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。

調整モードを終了する場合は、印字濃度調整画面で [CANCEL] キーまたは

[FUNCTION] キーを押してください。

オフライン画面に変わります。



▲ミシン目のある用紙のカット

ファンフォールド紙の折りミシン目から + 4 ~ + 25mm はカット禁止領域 (図 1 グレー部分) です。

この部分でのカットは動作不良の原因になります。

また、ロール紙の場合、ミシン目の上から手前 1mm まではカット禁止領域 (図 2 グレー部分) です。

ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするように、調整モード操作のオフセット調整画面で調整します。

カット禁止領域

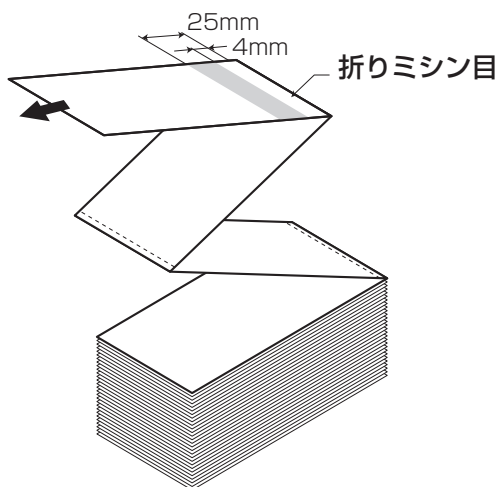


図 1 ファンフォールド紙の場合

カット禁止領域

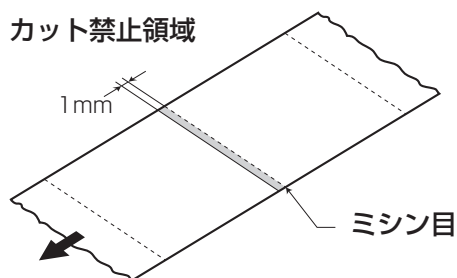


図 2 ロール紙の場合

カッタの交換

カッタを使用し続けると、磨耗により切れが悪くなり、カット面がケバ立ちます。
このような状態になったら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにご連絡ください。



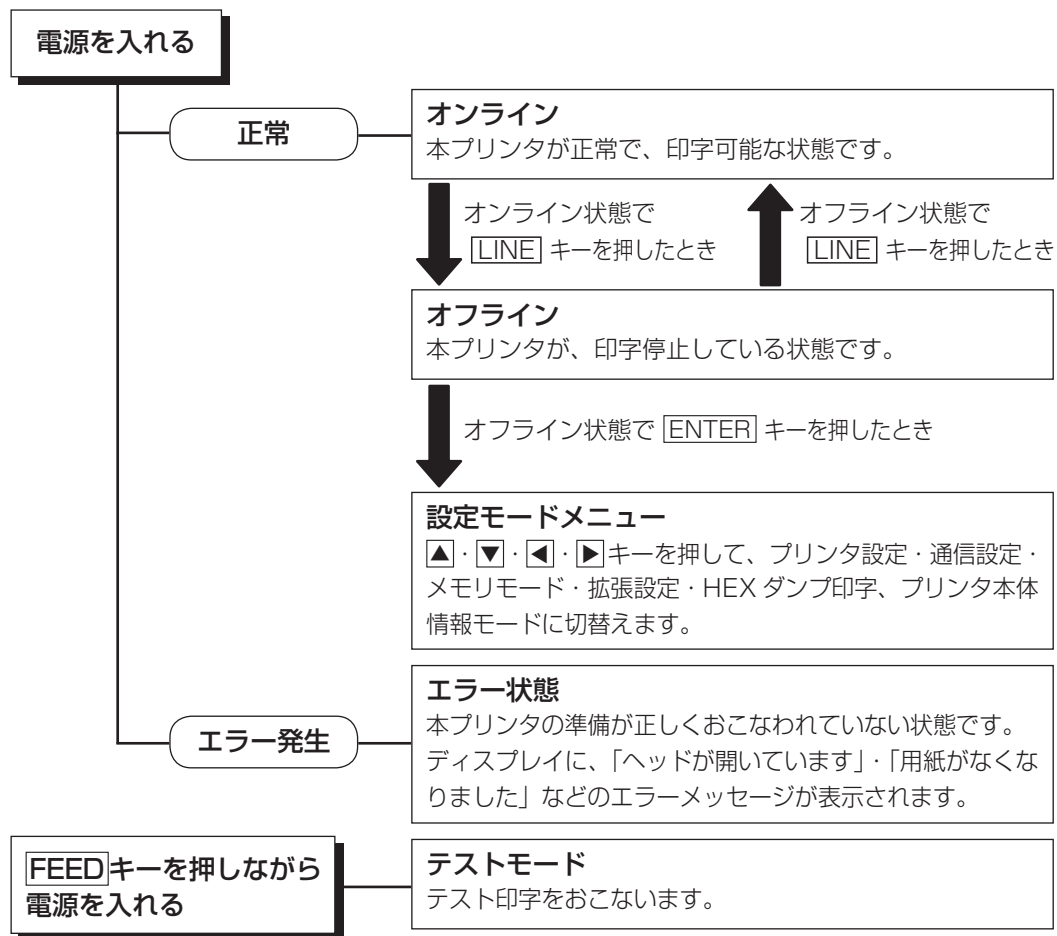
8 動かしてみましよう

本プリンタを動かしてみましよう。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

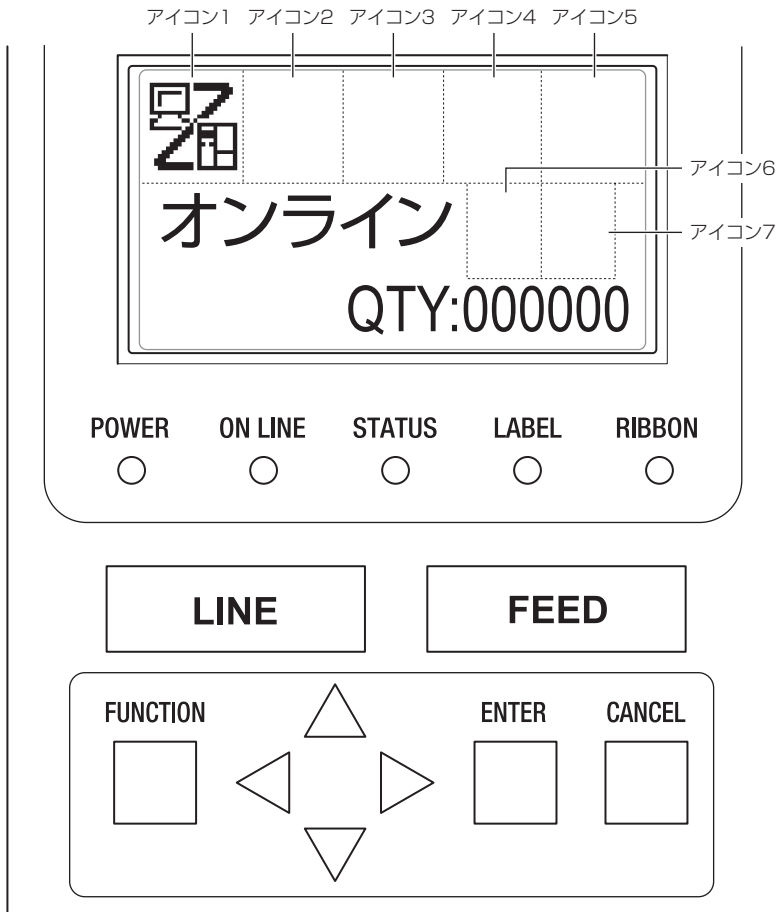
動かしてみる前に

本プリンタはオンライン・オフライン・プリンタ設定モード・エラー・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。

5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



ディスプレイの表示










●アイコン一覧





【モード表示】

No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタがオンライン状態のときに表示します。	アイコン 1
2		プリンタがオフライン状態のときに表示します。	アイコン 1
3		プリンタがテスト印字モードまたはダンプ印字モードのときに表示します。	アイコン 1
4		プリンタがダウンロードモードのときに表示します。	アイコン 1
5		プリンタがアップロードモードのときに表示します。	アイコン 1
6		プリンタがメモリモードのときに表示します。	アイコン 1

【設定画面】





No	アイコン	説明	表示位置
1		プリンタがオンラインモードに変わります。	—
2		プリンタがプリンタ設定モードに変わります。	—
3		プリンタが通信設定モードに変わります。	—
4		プリンタがメモリモードに変わります。	—
5		プリンタが拡張設定モードに変わります。	—
6		プリンタがダンプ印字モードに変わります。	—
7		プリンタがプリンタ本体情報モードに変わります。	—

【音量調整関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		音量 3（最大）の状態のときに表示します。	アイコン 5
2		音量 2 の状態のときに表示します。	アイコン 5
3		音量 1 の状態のときに表示します。	アイコン 5
4		音量 0（消音）の状態のときに表示します。	アイコン 5

音量は、0 → 1 → 2 → 3 の順で大きくなります。





【メモリカード関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		SD カード装着時に表示します。	アイコン 6
2		SD カードにアクセス状態のとき表示します。	アイコン 6
3		USB メモリ装着時に表示します。	アイコン 7
4		USB メモリにアクセス状態のとき表示します。	アイコン 7






【エラー関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		ラベルエンドまたはメディアエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
2		リボンエンドを検出したときに表示します。	アイコン 1
3		センサエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
4		ヘッドオープンを検出したときに表示します。	アイコン 1
5		ヘッド断線を検出したときに表示します。	アイコン 1
6		通信エラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
7		受信バッファオーバーを検出したときに表示します。	アイコン 1
8		アイテム No エラーまたは BCC エラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
9		カッタエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
10		メモ리카ードアクセスに失敗したときに表示します。 また、メモ리카ードに空き領域がないときにも表示します。	アイコン 1
11		メイン ROM への書込みに失敗したときに表示します。 また、漢字 ROM エラーを検出したときも表示します。	アイコン 1
12		上記以外のプリンタエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
13		無線 LAN ユニットエラーを検出したときに表示します。	アイコン 1
14		各種エラーに対応したエラー番号を表示します。	アイコン 2



【警告関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		リボンニアエンドを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
2		コマンドエラーを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
3		受信バッファニアフルを検出したときに表示します。	アイコン 3～5
4		サーマルヘッドが断線しているときに表示します。	アイコン 3～5

【無線 LAN 電界強度関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		電界強度がレベル 3（最大）の状態のときに表示します。	アイコン 2
2		電界強度がレベル 2 の状態のときに表示します。	アイコン 2
3		電界強度がレベル 1 の状態のときに表示します。	アイコン 2
4		電界強度がレベル 0（未接続）の状態のときに表示します。 ただし、環境などにより接続可能な場合があります。	アイコン 2
5		電界強度がレベル 0（未接続）の状態のときに表示します。	アイコン 2

【Bluetooth 接続関連】

No	アイコン	説明	表示位置
1		Bluetooth が接続状態のときに表示します。	アイコン 2
2		Bluetooth が切断状態のときに表示します。	アイコン 2

▲ LCD 表示の濃度調整

『オンラインモード』のときに、◀・▶キーを押すと表示濃度を調整できます。



- 左右 16 段階 (全 32 段階) で表示濃度を調整できます。
- ◀・▶キーを 1 回押すと 1 段階変化します。

本プリンタの詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

オンライン状態



本プリンタが印字可能な状態です。

本プリンタがオンライン状態のとき、次の操作ができます。

- 本プリンタに接続したコンピュータからデータを送り、印字します。
- [LINE]** キーを押すと、オフライン状態に切り替わります。
- 印字中に **[LINE]** キーを押すと、印字を一時停止します。

オフライン操作

オフライン状態



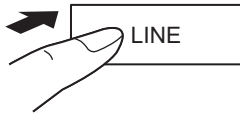
本プリンタが印字停止している状態です。

本プリンタがオフライン状態のとき、次の操作ができます。

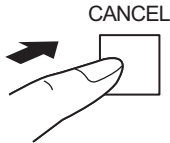
- [LINE]** キーを押すと、オンライン状態に変わります。
- [FEED]** キーを押すと、用紙を 1 枚送ります。
- [ENTER]** キーを押すと、設定モードメニューに変わります。

発行中の印字データキャンセル操作

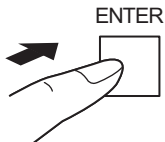
印字中に **LINE** キーを押すと、印字を一時停止します。
一時停止中に **CANCEL** キーを押すと、受信済みの印字データをすべてクリアします。



LINE キーを押します。
オフライン状態に変わります。



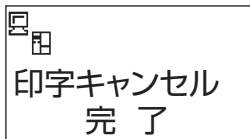
CANCEL キーを押します。
印字キャンセル画面に変わります。



◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。

ENTER キーを押すと次の設定画面に変わります。

【“する”を選択した場合】



“する”は、受信済みの印字データをクリアし、完了画面を表示した後、約3秒後にオフライン状態に戻ります。



【“しない”を選択した場合】



“しない”は、オフライン状態に戻ります。

調整モード操作

印字位置、オフセット位置、印字濃度を調整します。

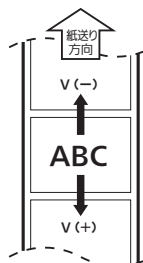


[LINE] キーを押します。
オフライン状態に変わります。



▼キーを押します。
印字位置調整画面に変わります。

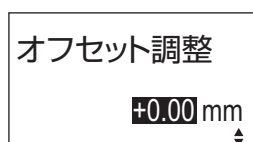
1. 印字位置調整



印字位置を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、-3.75 ~ +3.75mm です。
 - “+”と“-”は、移動方向です。
 - “+”：紙送り方向に対して後
 - “-”：紙送り方向に対して前
 - ・ キーを押すと 0.25mm 増減します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、オフセット調整画面に変わります。
- 初期値は、“+0.00mm”です。

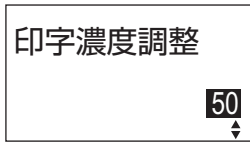
2. オフセット調整



停止位置 (☞ 28 ページ) およびカット位置 (☞ 29 ページ) を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、-3.75 ~ +3.75mm です。
 - “+”と“-”は、移動方向です。
 - “+”：紙送り方向に対して後
 - “-”：紙送り方向に対して前
 - ・ キーを押すと 0.25mm 増減します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、印字濃度調整画面に変わります。
- 初期値は、“+0.00mm”です。

3. 印字濃度調整



印字濃度を調整します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、00 ~ 99 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、印字位置調整画面に変わります。
- 調整モードを終了する場合は、[CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押してください。オフライン状態に変わります。
- 初期値は、“50” です。

ブザー音量調整操作

ブザーの音量を調整します。



▲キーを押します。

ブザー音量調整画面に変わります。



1. ブザー音量調整



- ▲キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は消音、1、2、3 です。
 - ・ ▲キーを押すたびに 1 → 2 → 3 → 消音 → 1... の順に変わります。
- [LINE] キーを押すと、オンライン画面もしくはオフライン画面に戻ります。
- 初期値は、“2” です。

画面はオフライン状態から移行したときの画面です。

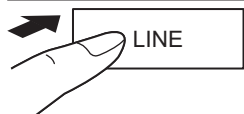
エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな」で説明します (☞ 103 ページ)。

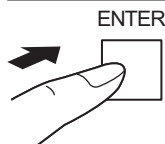
設定モードメニュー操作

設定モードには、プリンタ設定、通信設定、メモリモード、拡張設定、HEX ダンプ印字、プリンタ本体情報があります。

◆ 設定モードメニューの呼出し



オンライン状態で **[LINE]** キーを押してオフライン状態にします。



オフライン状態で **[ENTER]** キーを押します。
設定モードメニュー画面に変わります。



ディスプレイに次のように表示します。



[▲]・**[▼]**・**[◀]**・**[▶]**キーでカーソルを各設定モードに移動し、**[ENTER]**キーを押します。

- プリンタ設定 (☞ 42 ページ)
- 通信設定 (☞ 51 ページ)
- メモリモード (☞ 73 ページ)
- 拡張設定 (☞ 80 ページ)
- HEX ダンプ印字 (☞ 92 ページ)
- プリンタ本体情報モード (☞ 94 ページ)



● **[CANCEL]** キーまたは **[FUNCTION]** キーを押すとオフライン状態に変わります。



● オンライン発行で **[ENTER]** キーを押すとオンラインに変わります。



プリンタ設定



設定モードメニューで、**▲**・**▼**・**◀**・**▶**キーを押して「プリンタ設定」を選びます。

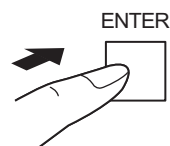
プリンタ設定メニューには以下のメニューがあります。

- 調整内容表示 (☞ 43 ページ)
- 印字速度設定 (☞ 43 ページ)
- 印字濃度設定 (☞ 43 ページ)
- 印字位置補正設定 (☞ 44 ページ)
- ゼロスラッシュ切替設定 (☞ 46 ページ)
- 文字コード切替設定 (☞ 47 ページ)
- 漢字書体切替設定 (☞ 47 ページ)
- プロポーショナルピッチ設定 (☞ 47 ページ)
- お知らせ機能設定 (☞ 48 ページ)

注意

設定の登録

各プリンタ設定を登録するためには、設定が終了後、**ENTER**キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面を表示します。



ENTERキーを押さないと、設定は登録されませんので注意してください。

CANCELキーを押すと、設定を登録しないで前の画面に戻ります。

FUNCTIONキーを押すと、設定を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

ENTERキーを押すと、プリンタ設定モードの最初の画面に変わります。

1. 調整内容表示

調整内容	
PITCH	+0.00
OFFSET	+0.00
DARKNESS	50

本プリンタの調整内容を表示します。

- [ENTER] キーを押すと、次の設定画面に変わります。

PITCH	印字位置調整値を表示
OFFSET	ティアオフ・カット停止位置調整値を表示
DARKNESS	印字濃度の設定値を表示

2. 印字速度設定

印字速度	
	04 IPS

印字速度を、4段階で設定できます。

用紙または印字内容によって、適切な印字が得られないときは、印字速度を遅くしてください。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、03～06です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“04IPS”（インチ/秒）です。

3. 印字濃度設定

印字濃度	
	05

印字の濃度（濃さ）を、10段階で設定できます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、01～10を選びます。
 - ・01～10の数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。印字濃度は、拡張設定の濃度レンジ（☞ 80 ページ）との組合せになります。01が一番薄く、10が一番濃くなります。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“05”です。

4. 印字位置補正設定

基点補正

V: \pm 0000 H: +0000

印字位置補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。本プリンタには、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。

本プリンタでは印字基準位置から印字したい位置までの距離を dot 単位で設定します。

1 dot = 0.083mm です。

- \blacktriangle ・ \blacktriangledown キーで設定値を変更します。
- \blacktriangleleft ・ \blacktriangleright キーでカーソル（白黒反転）を移動します。白黒反転している箇所の設定を変更できます。
- 印字位置補正範囲は下記のとおりです。
V \pm 0000 ~ 5040dot
H \pm 0000 ~ 3200dot
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“V:+0000 H:+0000” です。

V：印字基準位置から、縦方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：紙送り方向に対して後

“-”：紙送り方向に対して前

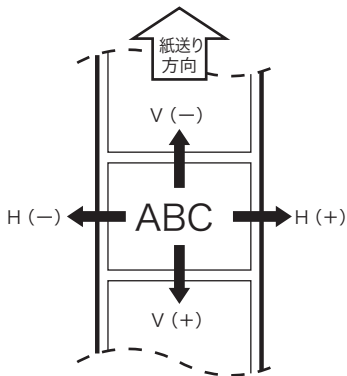
H：印字基準位置から、横方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。

“+”と“-”は移動する方向です。

“+”：プリンタ正面に向かって左側

“-”：プリンタ正面に向かって右側

カーソルは初め V（縦方向）の“+”にあります。



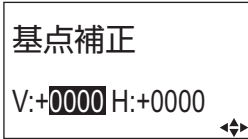
① V (縦方向) の設定



V (縦方向) の “+” が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを 1 回押すたびに “+” と “-” に表示が変わります。
- ▶キーを押すと、カーソルが V (縦方向) の数字に移動します。
- ◀キーを押すと、カーソルが H (横方向) の数字に移動します。

② V (縦方向) の移動 dot 数の設定



V (縦方向) の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを 1 回押すたびに数字が 1 つ増減します。
- ▶キーを押すと、カーソルが H (横方向) の “+” に移動します。
- ◀キーを押すと、カーソルが V (縦方向) の “+” に移動します。

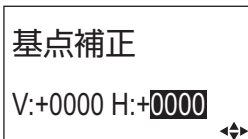
③ H (横方向) の設定



H (横方向) の “+” が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを 1 回押すたびに “+” と “-” に表示が変わります。
- ▶キーを押すと、カーソルが H (横方向) の数字に移動します。
- ◀キーを押すと、カーソルが V (縦方向) の数字に移動します。

④ H (横方向) の移動 dot 数の設定



H (横方向) の数字が白黒反転しています。

- ▲・▼キーを 1 回押すたびに数字が 1 つ増減します。
- ▶キーを押すと、カーソルが V (縦方向) の “+” に移動します。
- ◀キーを押すと、カーソルが H (横方向) の “+” に移動します。

【印字位置補正の設定例】

基点補正

V:0000 H:+0000

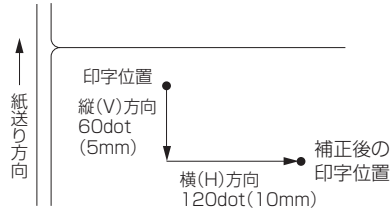


印字基準位置から

縦 (V) 方向に + 60dot (5mm)

横 (H) 方向に + 120dot (10mm)

離れた位置を基点とする設定例を示します。



▲・▼・◀・▶キーで数字を設定します。ディスプレイが左のように表示していることを確認してください。

[ENTER] キーを 1 回押すと登録が完了します。

基点補正

V:+0060 H:+0120



5. ゼロスラッシュ切替設定

ゼロスラッシュ

有効 無効



ゼロ (漢字は除く) を “0” または、“0” に設定します。

対象フォントは、X20 文字、X21 文字、X22 文字、X23 文字、X24 文字です。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・ “有効” は “0” になります。
 - ・ “無効” は “0” になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

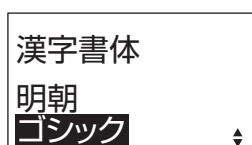
6. 文字コード切替設定



取り扱う文字コードを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“JIS”、“シフト JIS”、“Unicode” を選びます。
 - ・ “JIS” は、JIS コードを指定します。
 - ・ “シフト JIS” は、シフト JIS コードを指定します。
 - ・ “Unicode” は、Unicode を指定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“JIS” です。

7. 漢字書体切替設定



印字する漢字書体を明朝体、ゴシック体に設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“明朝”、“ゴシック” を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“ゴシック” です。

8. プロポーショナルピッチ設定



プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか）を設定します。

対象フォントは、X21 文字、X22 文字、X23 文字、X24 文字です。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・ “有効” は、各文字ごとの横幅で印字します。
 - ・ “無効” は、文字幅固定で印字します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

9. お知らせ機能設定

お知らせ機能設定
する **しない**

お知らせ機能*を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、お知らせ機能を設定します。
 - ・“しない”は、お知らせ機能を設定しません。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“する”は、お知らせ機能選択画面に変わります。
 - ・“しない”は、設定モードメニュー (☞ 42 ページ) に変わります。
- 初期値は、“しない”です。

* お知らせ機能とは、以下の時期を通知する機能です。

項目	お知らせする内容
プリンタ清掃	サーマルヘッドやプラテンローラーの清掃時期
プラテンローラー交換	プラテンローラーの交換時期
サーマルヘッド交換	サーマルヘッドの交換時期
カッタユニット交換	カッタユニットの交換時期

10. お知らせ機能選択

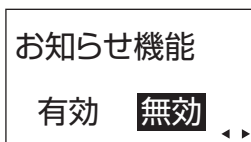
お知らせ機能
プリンタ清掃
プラテンローラー交換
サーマルヘッド交換
カッタユニット交換

お知らせ設定する項目を選びます。

本画面は、お知らせ機能設定を“する”に設定したとき表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“プリンタ清掃”、“プラテンローラー交換”、“サーマルヘッド交換”、“カッタユニット交換”を選びます。
 - ・“プリンタ清掃”は、プリンタの清掃時期を設定します。
 - ・“プラテンローラー交換”は、プラテンローラーの交換時期を設定します。
 - ・“サーマルヘッド交換”は、サーマルヘッドの交換時期を設定します。
 - ・“カッタユニット交換”は、カッタユニットの交換時期を設定します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“プリンタ清掃”です。

11. お知らせ機能確認

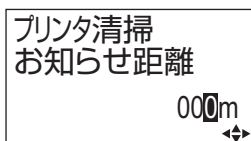


お知らせ機能を有効にするか設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、選んだお知らせ機能を有効にします。
 - ・“無効” は、選んだお知らせ機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効” は、お知らせ距離 / 回数設定画面に変わります。
 - ・“無効” は、お知らせ機能設定終了確認画面 (☞ 50 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

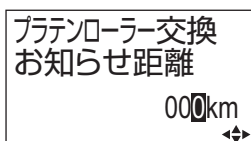
12. お知らせ距離 / 回数設定

【プリンタ清掃を選んだ場合】



選んだお知らせ項目の距離や回数を設定します。

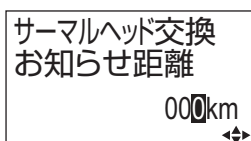
【プラテンローラー交換を選んだ場合】



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
設定範囲は、以下のとおりです。

項目	範囲
プリンタ清掃	000 ~ 999m
プラテンローラー交換	000 ~ 999km
サーマルヘッド交換	000 ~ 999km
カットユニット交換	00 ~ 99 万回

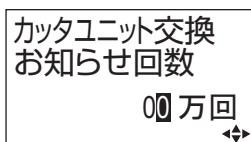
【サーマルヘッド交換を選んだ場合】



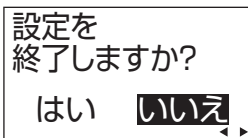
- ※ 0 を設定した場合、お知らせ機能が無効になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、以下のとおりです。

項目	初期値
プリンタ清掃	000m
プラテンローラー交換	000km
サーマルヘッド交換	000km
カットユニット交換	00 万回

【カットユニット交換を選んだ場合】



13. お知らせ機能設定終了確認



お知らせ機能設定を終了するか選びます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
 - “はい”は、お知らせ機能設定を終了します。
 - “いいえ”は、お知らせ機能設定を継続します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - “はい”は、設定モードメニュー（☞ 42 ページ）に変わります。
 - “いいえ”は、お知らせ機能選択画面（☞ 48 ページ）に変わります。
- 初期値は、“いいえ”です。

これでプリンタ設定が終了しました。

通信設定

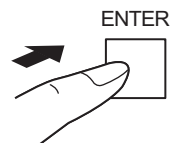


設定モードメニューで、**▲**・**▼**・**◀**・**▶**キーを押して「通信設定」を選びます。

注意

設定の登録

各通信設定を登録するためには、設定が終わった後、**[ENTER]**キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面を表示します。



[ENTER]キーを押さないと、設定は登録されませんので注意してください。

[CANCEL]キーを押すと、設定を登録しないで前の画面に戻ります。

[FUNCTION]キーを押すと、設定を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

[ENTER]キーを押すと、通信設定操作モードの最初の画面に変わります。

1. 電源 ON/OFF メッセージ

通信設定の変更後
プリンタの電源を
入れ直して下さい
ENTER キー押下

通信設定変更後に設定を有効にするための電源の入れ直しを促す内容を表示します。

- **[ENTER]**キーを押すと、次の設定画面に変わります。

2. 通信設定の変更確認

通信設定

する **しない**

各種インタフェースの通信設定を変更するかしないかを選びます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
- **[ENTER]**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“する”は、通信設定 (ポート設定) 画面 (52ページ) に変わります。
 - ・“しない”は、設定モードメニューに変わります。
- 初期値は、“しない”です。

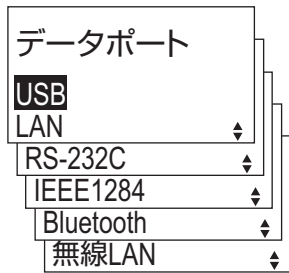
3. 通信設定（ポート設定）



通信設定をおこなうインタフェースポートを設定します。
本画面は通信設定で“する”に設定したときのみ表示します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“データポート”、“サブポート”を選びます。
 - “データポート”は、送受信可能なポートです。
 - “サブポート”は、ステータス(プリンタの状態)をコンピュータなどに送信するポートです。
スキャナまたは、キーボードを選んだ場合は、スキャナやキーボードのデータを受信します。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わり、選択したポートの設定をおこないます。
 - “データポート”は、データポート選択画面に変わります。
 - “サブポート”は、サブポート選択画面（☞ 54 ページ）に変わります。
- 初期値は、“データポート”です。

4. データポート選択

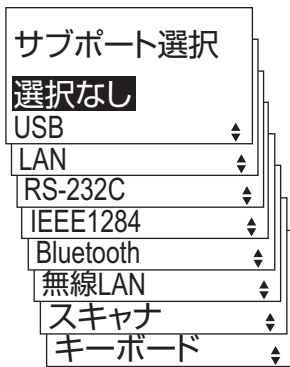


データポートとして使用するインタフェースを設定します。
本画面は通信ポート設定（ポート設定）で“データポート”に設定したときのみ表示します。

- **[▲]・[▼]**キーでカーソルを移動し、データポートを選びます。
- 下記のデータポートの中から選びます。
 - ・USB
 - ・LAN
 - ・RS-232C
 - ・IEEE1284
 - ・Bluetooth
 - ・無線 LAN（オプション）
- ※ サポート選択画面で設定したインタフェースは、本画面で選択できません。
- ※ サポートで USB を設定した場合、データポートで USB と無線 LAN が選択できません。
- ※ サポートで無線 LAN を設定した場合、データポートで USB と無線 LAN が、選択できません。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“USB” は、USB 設定画面（☞ 57 ページ）に変わります。
 - ・“RS-232C” は、RS-232C 設定画面（☞ 58 ページ）に変わります。
 - ・“IEEE1284” は、IEEE1284 設定画面（☞ 61 ページ）に変わります。
 - ・“LAN” “無線 LAN” は、LAN 設定画面（☞ 63 ページ）に変わります。
 - ・“Bluetooth” は、Bluetooth 設定画面（☞ 69 ページ）に変わります。
- 初期値は、“USB” です。

本設定と異なるポートから印字データを受信した場合は、印字しません。

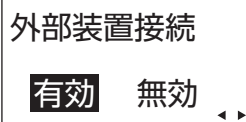
5. サポート選択



サポートとして使用するインタフェースを設定します。
本画面は通信設定（ポート設定）で“サポート”に設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、サポートを選びます。
- 下記のサポートの中から選びます。
 - ・ 選択なし
 - ・ USB
 - ・ RS-232C
 - ・ IEEE1284
 - ・ LAN
 - ・ Bluetooth
 - ・ 無線 LAN（オプション）
 - ・ スキャナ
 - ・ キーボード
- ※ データポート選択画面で設定したインタフェースは、本画面で選択できません。
- ※ データポートで USB を設定した場合、サポートで USB と無線 LAN が選択できません。
- ※ データポートで無線 LAN を設定した場合、サポートで USB と無線 LAN が、選択できません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ※ USB、RS-232C、IEEE1284、LAN、Bluetooth を選んだ場合、各インタフェースの設定後、外部装置接続設定画面に変わります。
 - ・ “USB” は、USB 設定画面（☞ 57 ページ）に変わります。
 - ・ “RS-232C” は、RS-232C 設定画面（☞ 58 ページ）に変わります。
 - ・ “IEEE1284” は、IEEE1284 設定画面（☞ 61 ページ）に変わります。
 - ・ “LAN” “無線 LAN” は、LAN 設定画面（☞ 63 ページ）に変わります。
 - ・ “Bluetooth” は、Bluetooth 設定画面（☞ 69 ページ）に変わります。
 - ・ “選択なし”、“スキャナ”、“キーボード” は、設定モードメニュー（☞ 51 ページ）に変わります。
- 初期値は、“選択なし”です。

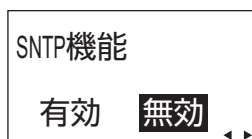
6. 外部装置接続設定



サポートと外部装置の接続を設定します。
本画面は“サポート”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、外部装置と接続します。
 - ・“無効”は、外部装置からのデータは無効になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
- 初期値は、“有効”です。

7. SNTP 機能設定

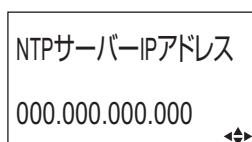


SNTP 機能*¹を設定します。
本画面は、RTC キット (オプション) を搭載して、データポートで“LAN”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、カレンダーの時刻を補正します。
 - ・“無効”は、カレンダーの時刻を補正しません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、NTP サーバー IP アドレス設定画面に変わります。
 - ・“無効”は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

* 1 SNTP 機能とは、ネットワークを通じて、NTP サーバーから時刻情報を取得してプリンタの時刻を設定する機能です。

8. NTP サーバー IP アドレス設定



NTP サーバー*²の IP アドレスを設定します。
本画面は、SNTP 機能を“有効”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“000.000.000.000”です。

* 2 NTP サーバーとは、時刻情報を提供するサーバーです。

9. タイムゾーン設定



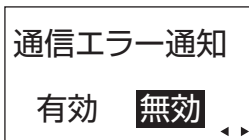
タイムゾーンの値*¹を設定します。

本画面は、SNTP 機能を“有効”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、- 12:45 ~ +14:45 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“+ 09 : 00”です。

* 1 タイムゾーンの値とは、NTP サーバー時刻との時差のことです。

10. 通信エラー通知設定



通信エラー通知を設定します。

本画面は、SNTP 機能を“有効”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、時刻補正を失敗したときに画面で通知します。
 - ・“無効”は、時刻補正を失敗したときに画面で通知しません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

各インタフェースの設定

[USB インタフェースの場合]

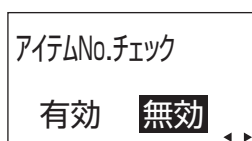
1. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“STATUS4”、“STATUS5”を選びます。
- **ENTER** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“STATUS4”は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
 - ・“STATUS5”は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
- 初期値は、“STATUS4”です。

2. アイテム No. チェック設定

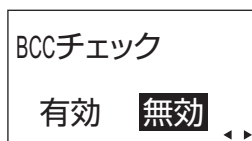


アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- **ENTER** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

3. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- **ENTER** キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

【RS-232C インタフェースの場合】

1. 通信レート設定

通信レート	
9600	19200
38400	57600
↔	
115200	
2400	4800
↔	

ボーレートを設定します。

- ▲・▼・◀・▶キーでカーソルを移動し、ボーレートを
選びます。
- 下記のボーレートの中から選びます。
 - 2400bps
 - 4800bps
 - 9600bps
 - 19200bps
 - 38400bps
 - 57600bps
 - 115200bps
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、“19200” です。

2. パリティビット設定

パリティビット	
NONE	▼
ODD	▼
EVEN	▼

パリティビットを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、パリティビットを選
びます。
- 下記のパリティビットの中から選びます。
 - NONE
 - ODD
 - EVEN
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、“NONE” です。

3. ストップビット設定

ストップビット	
1BIT	▼
2BIT	▼

ストップビットを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“1BIT”、“2BIT” を選
びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に
変わります。
- 初期値は、“1BIT” です。

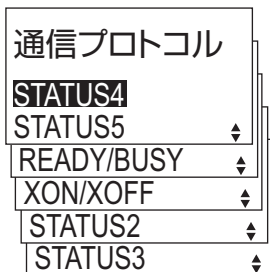
4. データ長設定



データ長を設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“7BIT”、“8BIT” を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“8BIT” です。

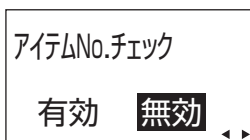
5. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選択します。
 - READY/BUSY
 - XON/XOFF
 - STATUS2
 - STATUS3
 - STATUS4
 - STATUS5
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - “STATUS3” または “STATUS4” は、次の画面に変わります。
 - データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - サポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
 - “STATUS5” は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
 - “READY/BUSY” または “XON/XOFF” は、受信バッファ設定画面 (☞ 60 ページ) に変わります。
 - “STATUS2” は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
- 初期値は、“STATUS4” です。

6. アイテム No. チェック設定



アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - “有効” は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - “無効” は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

7. BCC チェック設定

BCCチェック

有効 **無効**

BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

8. 受信バッファ設定

受信バッファ

マルチ

1アイテム

受信バッファタイプを設定します。

本画面は通信プロトコルで“READY/BUSY”または“XON/XOFF”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“マルチ”、“1アイテム”を選びます。
 - ・“マルチ”は、受信バッファニアフルまで受信するモードです。
 - ・“1アイテム”は、1アイテムごとに受信するモードです。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“マルチ”です。

【IEEE1284 インタフェースの場合】

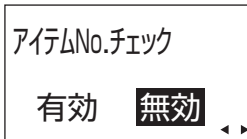
1. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、“STATUS4”、“STATUS5”を選びます。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“STATUS4”は、受信バッファ設定画面（☞ 60 ページ）に変わります。
 - ・“STATUS5”は、アイテム No. チェック設定画面に変わります。
- 初期値は、“STATUS4”です。

2. アイテム No. チェック設定

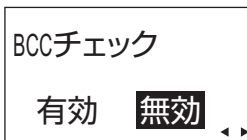


アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

3. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、BCC チェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー（☞ 51 ページ）に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面（☞ 55 ページ）に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

4. 受信バッファ設定



受信バッファタイプを設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“マルチ”、“1アイテム”を選びます。
 - ・“マルチ”は、受信バッファニアフルまで受信するモードです。
 - ・“1アイテム”は、1アイテムごとに受信するモードです。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“1アイテム”は、IEEE1284 ACK 信号幅設定画面に変わります。
 - ・“マルチ”は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“マルチ”です。

5. IEEE1284 ACK 信号幅設定



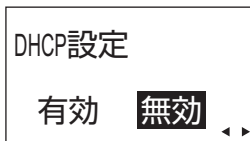
IEEE1284 通信の ACK 信号幅を設定します。

本画面は受信バッファで“1アイテム”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、00.5 ~ 12.0 です。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“00.5 μs”です。

【LAN/ 無線 LAN インタフェースの場合】

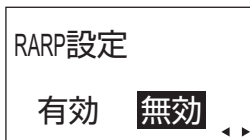
1. DHCP 設定



DHCP を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、DHCP サーバーより IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動取得します。
 - ・“無効” は、手入力で IP アドレスを設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

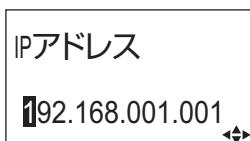
2. RARP 設定



RARP を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、RARP サーバーより IP アドレスを自動取得します。
 - ・“無効” は、手入力で IP アドレスを設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効” は、サブネットマスク設定画面 (☞ 64 ページ) に変わります。
 - ・“無効” は、DHCP 設定内容によって異なります。
 - DHCP 設定 “有効” は、ポート番号 1 画面 (☞ 64 ページ) に変わります。
 - DHCP 設定 “無効” は、IP アドレス設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

3. IP アドレス設定



IP アドレスを設定します。

本画面は DHCP 設定で “無効” を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、“000.000.000.000” ～ “255.255.255.255” です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“192.168.1.1” です。

4. サブネットマスク設定

サブネットマスク

255.255.255.000

サブネットマスクを設定します。

本画面は DHCP 設定で“無効”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“255.255.255.0”です。

5. ゲートウェイアドレス設定

ゲートウェイアドレス

192.168.001.002

ゲートウェイアドレスを設定します。

本画面は DHCP 設定で“無効”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、“000.000.000.000”～“255.255.255.255”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・LAN インタフェースの場合、ポート番号 1 設定画面 (☞ 同ページ) に変わります。
 - ・無線 LAN インタフェースの場合、通信モード設定画面 (☞ 65 ページ) に変わります。
- 初期値は下記のとおりです。
 - ・LAN インタフェースは、“000.000.000.000”です。
 - ・無線 LAN インタフェースは、“192.168.001.002”です。

6. ポート番号 1 設定

ポート番号 1

01024

ポート番号 1 を設定します。

本画面は LAN インタフェースのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、00001～65535 です。
 - ・ポート番号 2、3 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“01024”です。

7. ポート番号 2 設定

ポート番号2

01025
↔

ポート番号 2 を設定します。
本画面は LAN インタフェースのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、00001 ~ 65535 です。
 - ・ ポート番号 1、3 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“01025” です。

8. ポート番号 3 設定

ポート番号3

09100
↔

ポート番号 3 を設定します。
本画面は LAN インタフェースのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、00001 ~ 65535 です。
 - ・ ポート番号 1、2 と同一のポート番号の設定はできません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“09100” です。

9. 通信モード設定

通信モード

Ad Hoc

Infrastructure ▾

無線 LAN の通信モードを設定します。
本画面は無線 LAN ボードを装着したときのみ表示します。

- ▲・▼キーを押して、通信モードを選びます。
 - ・ Ad Hoc : アドホックモード
 - ・ Infrastructure : インフラストラクチャモード
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“Ad Hoc” です。

10. SSID 設定

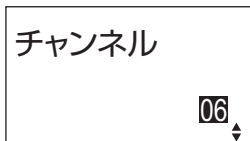


無線 LAN の SSID を設定します。

本画面は無線 LAN ボードを装着したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ 設定範囲は、英字（大文字、小文字）、数字、記号のみ最大 32 桁までです。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“SATO_PRINTER” です。

11. チャンネル設定



無線 LAN のチャンネルを設定します。

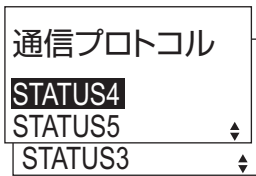
本画面は無線 LAN ボードを装着したときのみ表示します。

設定は、通信モード設定で“Ad Hoc”を設定したときのみ使用されます。

- ▲・▼キーを押して、チャンネルを選びます。
 - ・ 設定範囲は、01 ~ 13 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“06” です。

※ 無線 LAN のセキュリティについては、セットアップガイドをご覧ください。

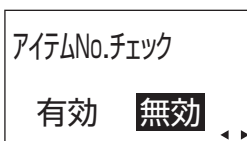
12. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選びます。
 - ・STATUS3
 - ・STATUS4
 - ・STATUS5
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“STATUS4” は、プリンタステータス返送タイミング設定画面 (☞ 68 ページ) に変わります。
 - ・“STATUS5” は、アイテム No. チェック設定画面 (☞ 同ページ) に変わります。
 - ・“STATUS3” は、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- **[CANCEL]** キーを押すと以下の場合を除き、前の画面に戻ります。
 - ・無線 LAN インタフェースで DHCP 設定が無効の場合、ゲートウェイアドレス設定画面 (☞ 64 ページ) に変わります。
- 初期値は、“STATUS4” です。

13. アイテム No. チェック設定

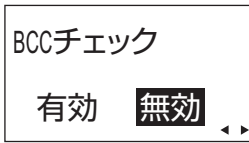


アイテム No. チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効” は、アイテム No. チェック機能を有効にします。
 - ・“無効” は、アイテム No. チェック機能を無効にします。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

14. BCC チェック設定



BCC チェック機能を設定します。

本画面は通信プロトコルで“STATUS5”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、BCC チェック機能を有効にします。
 - ・“無効” は、BCC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

15. プリントステータス返送タイミング設定



ステータス情報をホストに返送するタイミングを設定します。

本画面は、通信プロトコルで“STATUS4”を設定したときのみ表示します。

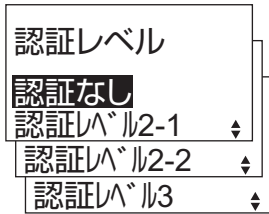
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“ENQ”、“周期” を選びます。
 - ・“ENQ” は、コンピュータからステータス要求 (ENQ) 受信により返送します。
 - ・“周期” は、500m 秒間隔でプリンタからコンピュータにステータスを返送します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・データポートとして設定している場合は、次の画面に変わります。
 - ・RTC キット (オプション) を装着していない場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・RTC キット (オプション) を装着している場合は、SNTP 機能設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
 - ・サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“ENQ” です。

※ 無線 LAN のセキュリティについては、スキャントロニクスセットアップガイドをご覧ください。

本製品は電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

【Bluetooth インタフェースの場合】

1. 認証レベル設定

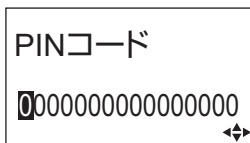


認証レベルを設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、認証レベルを選びます。
- 下記の認証レベルの中から選びます。
 - ・ 認証なし
 - ・ 認証レベル 2-1
 - ・ 認証レベル 2-2
 - ・ 認証レベル 3
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“認証なし”です。

2. PIN コード設定



PIN コードを設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで入力します。
 - ・ 入力できる PIN コードは、1～16文字までの英字（大文字、小文字）、数字、記号です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0000000000000000”です。

3. デバイス名設定



デバイス名を設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで入力します。
 - ・ 入力できるデバイス名は、1～20文字までの英字（大文字、小文字）、数字、記号です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“SATO L PRINTER”です。

4. 検索応答設定

検索応答設定

有効 無効

検索応答を設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・“有効” は、検索応答の設定を有効にします。
 - ・“無効” は、検索応答の設定を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効” の場合、通信パラメータ (ISI) 設定画面 (☞同ページ) に変わります。
 - ・“無効” の場合、通信パラメータ (PSI) 設定画面 (☞ 71 ページ) に変わります。
- 初期値は、“有効” です。

5. 通信パラメータ (ISI) 設定

通信パラメータ (ISI)

0800

通信パラメータ (ISI) を設定します。

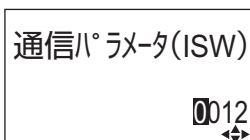
本画面は、検索応答の設定画面で、“有効” を設定したときのみ表示します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・▲キーを押すと、1桁目は設定値を+2します。それ以外は+1します。
 - ・▼キーを押すと、1桁目は設定値を-2します。それ以外は-1します。
 - ・設定範囲は、0012 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0800” です。

通信パラメータ (ISI) の設定値は、通信パラメータ (ISW) の設定値以上に設定してください。

6. 通信パラメータ (ISW) 設定



通信パラメータ (ISW) を設定します。

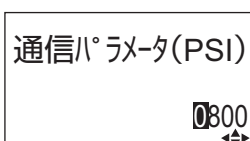
本画面は、検索応答の設定画面で、“有効” を設定したときのみ表示します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ ▲キーを押すと、設定値を+ 1 します。
 - ・ ▼キーを押すと、設定値を- 1 します。
 - ・ 設定範囲は、0011 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0012” です。

通信パラメータ (ISW) の設定値は、通信パラメータ (ISI) の設定値以下に設定してください。

7. 通信パラメータ (PSI) 設定



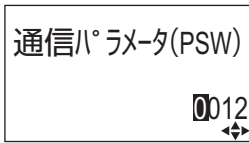
通信パラメータ (PSI) を設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ ▲キーを押すと、1 の位は設定値を+ 2 します。それ以外の位は+ 1 します。
 - ・ ▼キーを押すと、1 の位は設定値を- 2 します。それ以外の位は- 1 します。
 - ・ 設定範囲は、0012 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0800” です。

通信パラメータ (PSI) の設定値は、通信パラメータ (PSW) の設定値以上に設定してください。

8. 通信パラメータ (PSW)



通信パラメータ (PSW) を設定します。

変更した設定は、本プリンタの電源再投入で有効になります。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・ ▲キーを押すと、設定値を+ 1 します。
 - ・ ▼キーを押すと、設定値を- 1 します。
 - ・ 設定範囲は、0011 ~ 1000 です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“0012” です。

通信パラメータ (PSW) の設定値は、通信パラメータ (PSI) の設定値以下に設定してください。

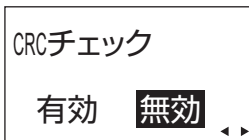
9. 通信プロトコル設定



通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、通信プロトコルを選びます。
- 下記の通信プロトコルの中から選びます。
 - ・ STATUS3
 - ・ STATUS4
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“STATUS4” です。

10. CRC チェック設定



CRC チェック機能を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効” を選びます。
 - ・ “有効” は、CRC チェック機能を有効にします。
 - ・ “無効” は、CRC チェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の画面に変わります。
 - ・ データポートとして設定している場合は、設定モードメニュー (☞ 51 ページ) に変わります。
 - ・ サブポートとして設定している場合は、外部装置接続設定画面 (☞ 55 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

メモリモード

設定モードメニューで、**▲**・**▼**・**◀**・**▶**キーを押して「メモリモード」を選びます。

[ENTER] キーを押すと次のように表示します。



1. カードスロット設定

カードスロット設定

する **しない**

カードスロット設定を指定します。

本プリンタに搭載されています、本体メモリ、本体FROM、USBメモリ、SDカードのスロットを割りあてます。

- **◀**・**▶**キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - “する”は、カードスロット設定をおこないます。
 - “しない”は、カードスロット設定をおこないません。
- **[ENTER]** キーを押すと次の画面に変わります。
 - “する”は、カードスロット0指定画面に変わります。
 - “しない”は、メモリモードメニュー選択画面 (75 ページ) に変わります。
- 初期値は、“しない”です。

2. カードスロット0指定

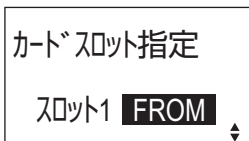
カードスロット指定

スロット0 **本体**

カードスロット0を指定します。

- **▲**・**▼**キーでカーソルを移動し、スロット0を選びます。
- 下記のスロットの中から選びます。
 - 本体
 - FROM
 - SDカード
 - USBメモリ
 - 未使用
- ※スロット0で選択したスロットは、スロット1、スロット2では選択できません。
- **[ENTER]** キーを押すと次の画面に変わります。
- 初期値は、“本体”です。

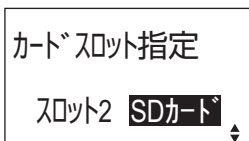
3. カードスロット 1 指定



カードスロット 1 を指定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、スロット 1 を選びます。
 - 下記のスロットの中から選びます。
 - ・ 本体
 - ・ FROM
 - ・ SD カード
 - ・ USB メモリ
 - ・ 未使用
- ※スロット 1 で選択したスロットは、スロット 0、スロット 2 では選択できません。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - 初期値は、“FROM” です。

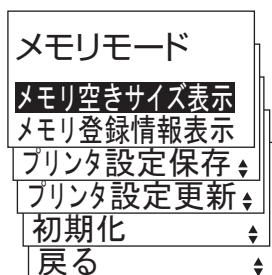
4. カードスロット 2 指定



カードスロット 2 を指定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、スロット 2 を選びます。
 - 下記のスロットの中から選びます。
 - ・ 本体
 - ・ FROM
 - ・ SD カード
 - ・ USB メモリ
 - ・ 未使用
- ※スロット 2 で選択したスロットは、スロット 0、スロット 1 では選択できません。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - 初期値は、“SD カード” です。

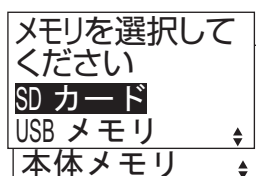
5. メモリモードメニュー選択



メモリモードを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、メモリモードを選びます。
 - “メモリ空きサイズ表示” は、メモリの空きサイズを表示します。
 - “メモリ登録情報表示” は、メモリに登録されている情報を表示します。
 - “プリンタ設定保存” は、プリンタの設定情報をメモリに保存します。
 - “プリンタ設定更新” は、プリンタの設定をメモリに保存されているプリンタ設定情報に更新します。
 - “初期化” は、選択したメモリを初期化します。
 - “戻る” を選ぶと設定モードメニュー(73ページ) に変わります。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - “メモリ空きサイズ表示” または “メモリ登録情報表示”、“初期化” を選んだ場合、メモリ選択画面に変わります。
 - “プリンタ設定保存” を選んだ場合、プリンタ設定情報保存先選択画面(78ページ) に変わります。
 - “プリンタ設定更新” を選んだ場合、プリンタ設定情報コピー元選択画面(78ページ) に変わります。
- 初期値は、“メモリ空きサイズ表示” です。

6. メモリ選択



メモリモード（メモリ空きサイズ表示またはメモリ登録情報表示、初期化）を実行するメモリカードを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、下記のメモリを選びます。
 - SDカード*¹
 - USBメモリ*²
 - 本体メモリ
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - メモリモードで、“メモリ空きサイズ表示” を選んだ場合、メモリ空きサイズ表示画面(76ページ) に変わります。
 - メモリモードで、“メモリ登録情報表示” を選んだ場合、メモリ登録情報選択画面(76ページ) に変わります。
 - メモリモードで、“初期化” を選んだ場合、メモリ初期化設定画面(77ページ) に変わります。
- [CANCEL] キーを押すと、メモリモードメニュー選択画面に変わります。
- 初期値は、“SD カード” です。

* 1 SD カードは、サトー純正品のご使用をお願いします。

* 2 USBメモリのご使用については、オプション(116ページ) をご覧ください。

7. メモリ空きサイズ表示

メモリ空きサイズ
XXXX MB
XXXXXXXXXXXX バイト

メモリ選択にて選んだメモリの空き容量を表示します。

- [ENTER] キーを押すとメモリモードメニュー選択画面 (☞ 75 ページ) に変わります。
- メモリ空きサイズによって表示が変わります。
 - ・1024KB以下の場合、“XXXXXXXXXXXXバイト” と表示します。
 - ・1024バイト以上の場合、“XXXXKB” と表示します。
 - ・1048576バイト以上の場合、“XXXXMB” と表示します。
 - ・1073741824バイト以上の場合、“XXXXGB” と表示します。

8. メモリ登録情報選択

メモリ登録情報
フォームオーバーレイ
フォーマット
グラフィック
BMPファイル

メモリ選択にて選んだメモリの登録情報を選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、下記の登録情報を選びます。
 - ・フォームオーバーレイ
 - ・フォーマット
 - ・グラフィック
 - ・BMPファイル
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
- 初期値は、“フォームオーバーレイ” です。

9. メモリ登録情報表示

フォームオーバーレイ情報
フォーマット情報
グラフィック情報
BMPファイル情報
XXX 件
XXXXXXXXXXXX バイト

メモリ登録情報を表示します。

- メモリ登録情報選択で選んだ情報を表示します。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

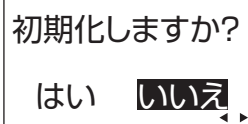
10. メモリ登録済み No. 表示

フォームオーバーレイ情報
フォーマット情報
グラフィック情報
BMPファイル
登録済みNo.
001 002 003 004
005 010 011

登録情報の登録済みの No. 情報を表示します。

- メモリ登録情報表示画面で選んだ登録情報の登録 No. を表示します。
- ▲・▼キーで画面がスクロールします。
- [ENTER] キーを押すとメモリ選択画面 (☞ 75 ページ) に変わります。

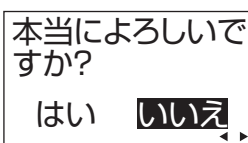
11. メモリ初期化設定



メモリ選択にて選んだメモリの登録領域を初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、初期化開始確認画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、メモリモードメニュー選択画面(☞ 75ページ)に変わります。
- 初期値は、“いいえ”です。

12. 初期化開始確認

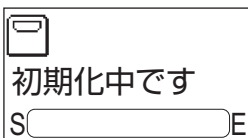


メモリの初期化開始確認画面です。

初期化を開始すると、お客様が登録されたデータはすべてクリアされます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、初期化を開始して初期化中画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、メモリ初期化設定画面に変わります。
- 初期値は、“いいえ”です。

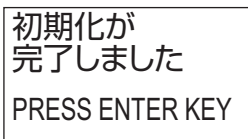
13. 初期化中画面



メモリの登録領域初期化中の画面です。

初期化終了後、次の画面に変わります。

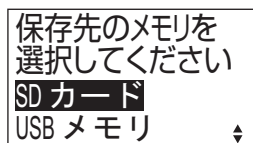
14. 初期化完了画面



初期化が完了すると本画面を表示します。

- [ENTER] キーを押すとメモリ選択画面(☞ 75ページ)に変わります。

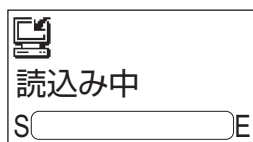
15. プリンタ設定情報保存先選択



プリンタの設定情報を保存するメモリを選びます。

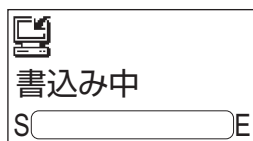
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“SDカード”、“USBメモリ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
- 初期値は、“SDカード”です。

16. プリンタ設定情報読み込み中画面



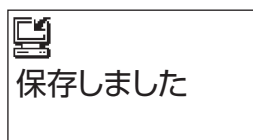
プリンタ設定情報データ読み込み中の画面です。
データ読み込み終了後、次の画面に変わります。

17. プリンタ設定情報書き込み中画面



プリンタ設定情報データ書き込み中の画面です。
データ書き込み終了後、次の画面に変わります。

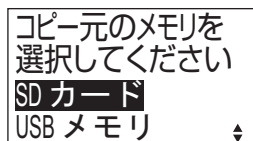
18. プリンタ設定情報保存完了画面



プリンタ設定情報データの保存が完了すると表示します。

- [ENTER] キーを押すとメモリモードメニュー選択画面 (☞ 75 ページ) に変わります。

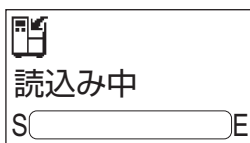
19. プリンタ設定情報コピー元選択



プリンタ設定情報のコピー元メモリを選びます。

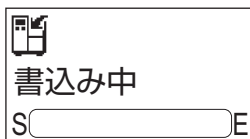
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“SDカード”、“USBメモリ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。
- 初期値は、“SDカード”です。

20. プリンタ設定情報読み込み中画面



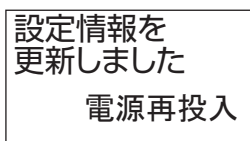
プリンタ設定情報データ読み込み中の画面です。
データ読み込み終了後、次の画面に変わります。

21. プリンタ設定情報書き込み中画面



プリンタ設定情報データ書き込み中の画面です。
データ書き込み終了後、次の画面に変わります。

22. プリンタ設定情報更新完了画面



プリンタ設定情報データの保存が完了すると表示します。

- 電源を切って、電源を入れてください。

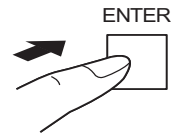
拡張設定

設定モードメニューで、・・・キーを押して「拡張設定」を選びます。



設定の登録

各拡張設定を登録するためには、設定が終了後、**ENTER**キーを1回押してください。設定が登録され、次の設定画面を表示します。



ENTERキーを押さないと、設定は登録されませんので注意してください。

CANCELキーを押すと、設定を登録しないで前の画面に戻ります。



FUNCTIONキーを押すと、設定を登録しないで設定モードメニューに戻ります。

ENTERキーを押すと、次の設定画面に変わります。

1. 濃度レンジ設定

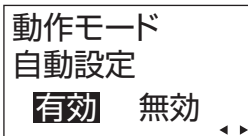


印字の濃度レンジを設定します。
基本的には変更不要です。

- ・キーでカーソルを移動し、Aを選びます。
- **ENTER**キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“A”です。

A以外を選ぶとエラーになり、ブザーが鳴ります。

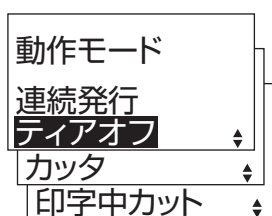
2. 動作モード自動設定



オプションユニットの装着状態を認識して、動作モードを自動で切替える機能を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、有効、無効を設定します。
 - ・“有効”は、自動設定が有効になります。
 - ・“無効”は、自動設定が無効になります。
- カッタユニットが装着されているときは、カッタ動作になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“有効”です。

3. 動作モード設定



動作モードを設定します。

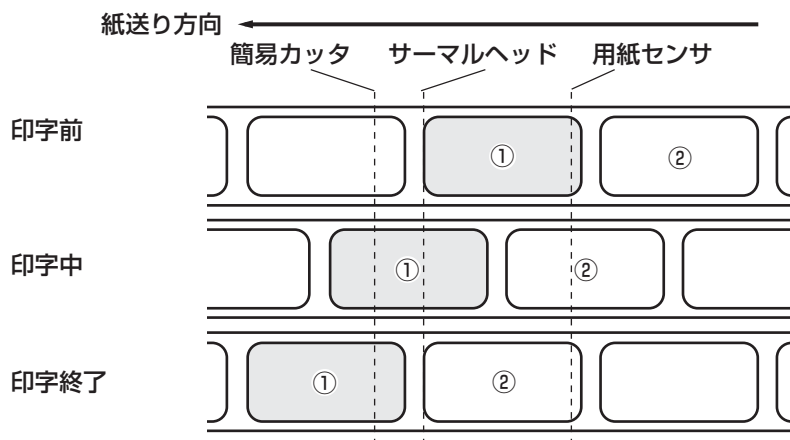
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、動作モード（☞ 82 ページ）を選びます。
- 下記の動作モードの中から選びます。
 - ・ティアオフ
 - ・カッタ（カッタ装着時のみ表示）
 - ・印字中カット（カッタ装着時のみ表示）
 - ・連続発行
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“連続発行”、“ティアオフ”、“印字中カット”は、印字方式設定画面（☞ 83ページ）に変わります。
 - ・“カッタ”は、バックフィールド動作設定画面（☞ 83ページ）に変わります。
- 初期値は、“ティアオフ”です（カッタ装着時の初期値は、“カッタ”です）。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、カッタ（オプション）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

連続印字動作モード

指定された印字枚数分を続けて印字するモードです。印字終了後、または1枚フィードのときは、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。

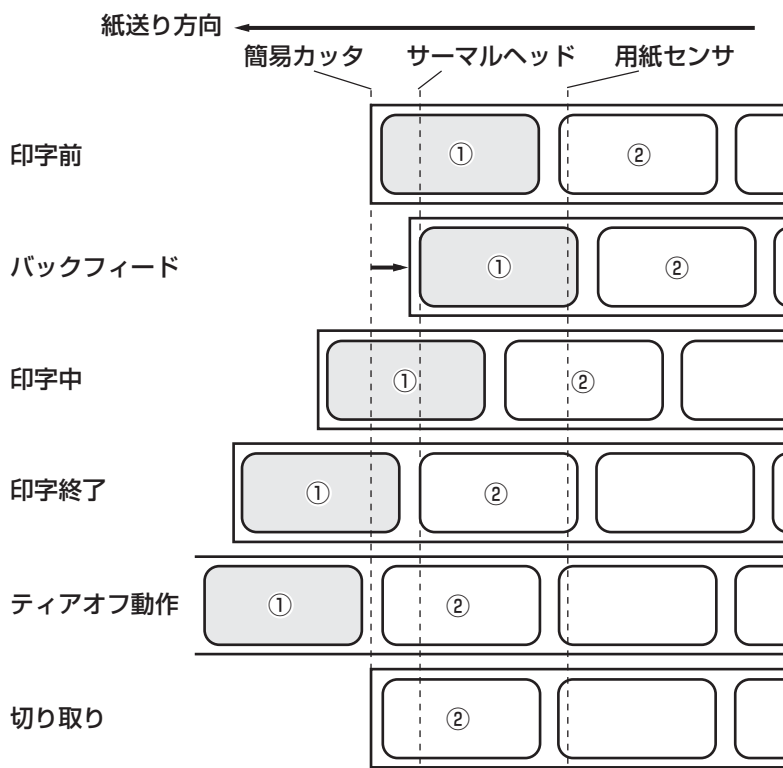


ティアオフ動作モード

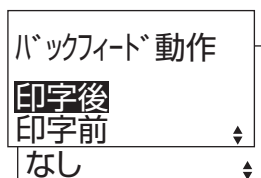
指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動で送り出すモードです。

この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切ることができます。

次の印字をおこなうときには、用紙の先端がサーマルヘッド位置まで戻り、印字を開始します。



4. バックフィード動作設定



バックフィード動作を設定します。

本画面は動作モード設定画面 (☞ 81 ページ) で “カタ” を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、バックフィード動作を選びます。
- 下記のバックフィード動作の中から選びます。
 - ・ “印字後” は、動作 1 (印字後バックフィード) に設定します。
 - ・ “印字前” は、動作 2 (印字前バックフィード) に設定します。
 - ・ “なし” は、バックフィードなしに設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“印字後” です。

5. 排出カット動作設定

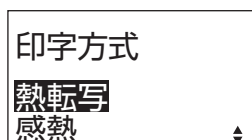


最終ラベル印字後の、排出カット動作を設定します。

本画面は動作モード設定画面 (☞ 81 ページ) で、“印字中カット” を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーで設定値を選びます。
- 設定値は “1 秒” ~ “5 秒” および “無効” です。
 - ・ “1 秒” ~ “5 秒” は、最終ラベル印字後に指定した時間が経過すると排出カット動作をおこないます。
 - ・ “無効” は、排出カット動作をおこないません。
- ▲キーを押すごとに以下の順番で表示されます。
 - ・ 有効 1 秒 → 有効 2 秒 → 有効 3 秒 → 有効 4 秒 → 有効 5 秒 → 無効 → 有効 1 秒 → 有効 2 秒……。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効” です。

6. 印字方式設定



印字方式の設定画面です。

本画面は SG112R のみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“熱転写”、“感熱” を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“熱転写” です。

7. ピッチセンサ設定



用紙センサ機能の有効、無効を設定します。

本画面は動作モード設定画面（☞ 81 ページ）で、“カット”、“連続発行”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、ピッチセンサ（用紙センサ）機能が有効になります。
 - ・“無効”は、ピッチセンサ（用紙センサ）機能が無効になります。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、用紙センサ種設定画面（☞ 同ページ）に変わります。
 - ・“無効”は、コマンドエラー表示設定画面（☞ 85 ページ）に変わります。
- 初期値は、“有効”です。

8. 用紙センサ種設定

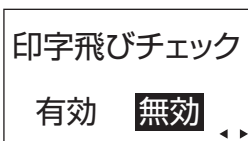


使用する用紙センサ種を設定します。

本画面はピッチセンサ設定が“有効”のときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、用紙センサ種を選びます。
 - ・“反射”は、反射センサに設定します。
 - ・“透過”は、透過センサに設定します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“反射”です。

9. 印字飛びチェック設定



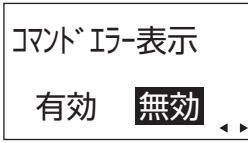
印字飛びチェック機能の有効、無効を設定します。

本画面はピッチセンサ設定が“有効”のときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、印字飛びチェックを有効にします。
 - ・“無効”は、印字飛びチェックを無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

用紙サイズ指定コマンドで指定した用紙より長い用紙をセットしたり、セットした用紙の長さより大きな値の印字データを設定した場合、印字飛びエラーになります。

10. コマンドエラー表示設定



コマンド表示機能の有効、無効を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、コマンドエラー画面（☞ 109 ページ）を表示して発行動作を停止します。
 - ・“無効”は、コマンドエラーアイコン（☞ 36 ページ）を表示して発行動作を継続します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

印字データのコマンドに有効範囲外のパラメータが設定されるとコマンドエラーになります。

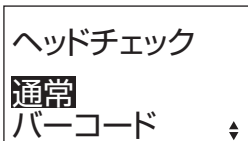
11. ヘッドチェック設定



ヘッドチェック機能の有効、無効を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、ヘッドチェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、ヘッドチェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、ヘッドチェック範囲設定画面に変わります。
 - ・“無効”は、外部信号設定画面（☞ 87 ページ）に変わります。
- 初期値は、“有効”です。

12. ヘッドチェック範囲設定



ヘッドチェックをおこなう範囲を設定します。

本画面は、ヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“通常”、“バーコード”を選びます。
 - ・“通常”は、印字領域をチェックします。
 - ・“バーコード”は、バーコード印字領域のみをチェックします。バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、チェックされません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“通常”です。

◆ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能とは、サーマルヘッドの断線を自動で確認する機能です。エラーが発生すると発行を停止します。

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

(印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります)

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキナ読取りをおこなって確認してください。

<ヘッドエラー発生時の対処方法>

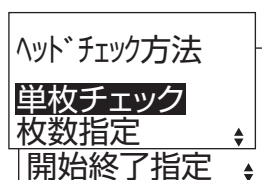
①ヘッドチェック範囲設定が通常の場合

- **[FEED]** キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面を表示します。
 - ・通常を選ぶと、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面を表示します。
 - ・バーコードを選ぶと、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切替えて発行を再開します。
- **[LINE]** キーと **[FEED]** キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

②ヘッドチェック範囲設定がバーコードの場合

- **[LINE]** キーと **[FEED]** キーを同時に5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

13. ヘッドチェック方法



ヘッドチェック方法を設定します。

本画面は、ヘッドチェック設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- **[▲]**・**[▼]**キーでカーソルを移動し、ヘッドチェック方法を選びます。
 - ・“単枚チェック”は、1枚ごとにヘッドチェックします。
 - ・“枚数指定”は、ヘッドチェック枚数指定 (☞ 87 ページ) で設定した枚数ごとにヘッドチェックします。
 - ・“開始終了指定”は、印字開始前と印字停止やバックフィード時にヘッドチェックをおこないません。
- **[ENTER]** キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“単枚チェック”、“開始終了指定”は、外部信号設定画面 (☞ 87 ページ) に変わります。
 - ・“枚数指定”は、ヘッドチェック枚数指定画面 (☞ 87 ページ) に変わります。
- 初期値は、“単枚チェック”です。

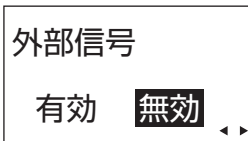
14. ヘッドチェック枚数指定



何枚ごとにヘッドチェックをおこなうかを設定します。
本画面は、ヘッドチェック方法で“枚数指定”を設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、000001～999999です。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・動作モードが印字中カットに設定されている場合は、オートオンライン設定画面 (☞ 90 ページ) に変わります。
 - ・動作モードが印字中カット以外に設定されている場合は、外部信号設定画面 (☞ 同ページ) に変わります
- 初期値は、“000001”です。

15. 外部信号設定



外部信号の入出力の有無を設定します。
本画面は、動作モード設定を“印字中カット”以外に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、入出力を許可します。
 - ・“無効”は、入出力を禁止します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“有効”は、外部信号出力タイプ設定画面に変わります。
 - ・“無効”は、次の画面に変わります。
 - ・RTCキット (オプション) が装着されているときは、カレンダー機能設定画面 (☞ 88 ページ) に変わります。
 - ・RTCキット (オプション) が装着されていないときは、オートオンライン設定画面 (☞ 90 ページ) に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

16. 外部信号 (PREND) 出力タイプ設定

外部信号

TYPE1 TYPE2
TYPE3 **TYPE4** ⇄

外部信号 (PREND) の出力タイプを設定します。
本画面は、外部信号設定で“有効”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼・◀・▶キーでカーソルを移動し、外部信号出力タイプを選びます。
 - 下記の出力動作モードから選択可能です。
 - ・TYPE1
 - ・TYPE2
 - ・TYPE3
 - ・TYPE4
 - [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - 初期値は、“TYPE4”です。
- ※ 詳細は SBPL プログラミングガイドをご覧ください。
SBPL プログラミングガイドについては販売店、ディーラー
またはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

17. 再発行信号設定

再発行信号

有効 **無効** ⇄

外部信号 7 ピンの入力による再発行機能を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、再発行を許可します。
 - ・“無効”は、再発行を禁止します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“無効”です。

18. カレンダー機能設定

カレンダー設定

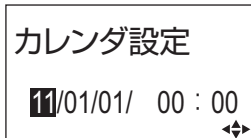
する **しない** ⇄

カレンダー機能を設定します。

本画面は、RTC キット (オプション) が装着されている場合に
表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、カレンダーを設定します。
 - ・“しない”は、カレンダーを設定しません。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ・“する”は、カレンダー設定画面 (☞ 89 ページ) に変わります。
 - ・“しない”は、オートオンライン設定画面 (☞ 90 ページ) に変わります。
- 初期値は、“しない”です。

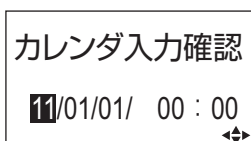
19. カレンダー設定



カレンダーを設定します。
本画面は、カレンダー機能を“する”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、“81/01/01 00:00 (1981年1月1日)”～“80/12/31 00:00 (2080年12月31日)”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。

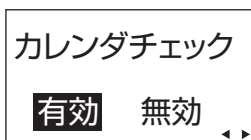
20. カレンダー入力確認



カレンダー誤設定防止のため、もう一度カレンダー設定と同じ日付・時刻を入力します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、▲・▼キーで設定値を変更します。
 - ・設定できる範囲は、“81/01/01 00:00 (1981年1月1日)”～“80/12/31 00:00 (2080年12月31日)”です。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
カレンダー設定と違う日付・時刻を設定するとエラーになり、カレンダー設定画面に戻ります。
- 初期値は、“11/01/01 00:00”です。

21. カレンダーチェック機能設定



カレンダーチェック機能*を設定します。
本画面は、カレンダー機能を“する”に設定したときのみ表示します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“有効”、“無効”を選びます。
 - ・“有効”は、カレンダーチェック機能を有効にします。
 - ・“無効”は、カレンダーチェック機能を無効にします。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“有効”です。

* カレンダーチェック機能は、RTC キット (オプション) の日付・時刻を確認する機能です。

22. オートオンライン設定

オンライン起動

する しない

電源投入時のプリンタの状態を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
 - ・“しない”は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“する”です。

23. 初期フィード設定

起動時 紙送り

する しない

プリンタ起動時に自動で用紙フィードをおこないます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないます。
 - ・“しない”は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないません。
 ただし、オンラインフィード設定画面（☞同ページ）で、“する”に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないます。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“しない”です。

24. オンラインフィード設定

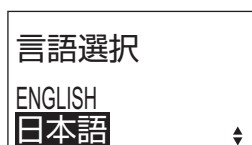
エラー後 紙送り

する しない

オンライン状態に移行したとき、自動で用紙フィードをおこないます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“する”、“しない”を選びます。
 - ・“する”は、オンライン状態に移行したとき、用紙フィードをおこないます。
 - ・“しない”は、オンライン状態に移行したとき、用紙フィードをおこないません。
 ただし、初期フィード設定画面（☞同ページ）で、“する”に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードをおこないます。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“する”です。

25. 言語選択の設定



操作パネルの表示言語を設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“ENGLISH”、“日本語”を選びます。
 - ・“ENGLISH”は、ディスプレイ表示が英語になります。
 - ・“日本語”は、ディスプレイ表示が日本語になります。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“日本語”です。

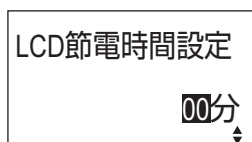
26. プロトコルコード設定



プロトコルコードのコード設定をします。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“STANDARD”、“NON-STANDARD”を選びます。
 - ・“STANDARD”は、スタンダードコードになります。
 - ・“NON-STANDARD”は、ノンスタンダードコードになります。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
- 初期値は、“STANDARD”です。

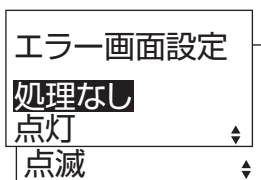
27. LCD 節電時間設定



一定時間操作がおこなわれない状態が続いたときにLCDバックライトを消灯して消費電力を節減します。

- ▲・▼キーでLCD消灯時間を設定します。
 - ・設定範囲は、00～15です。
 - ・00の場合、LCDバックライトは常時点灯します。
- [ENTER]キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。
 - ※ いずれかのキーを押すとバックライトが点灯します。
- 初期値は、“00”です。

28. エラー画面設定



本プリンタにてエラーが発生したときのLCDバックライトの点灯状態を設定します。

- ▲・▼キーでエラー画面を設定します。
 - “処理なし” は、通常画面と同じです。
 - “点灯” は、エラー発生後、バックライト色が橙色で点灯します。
 - “点滅” は、エラー発生後、バックライト色が橙色で点滅します。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、設定モードメニュー (☞ 79 ページ) に変わります。
- 初期値は、“処理なし” です。

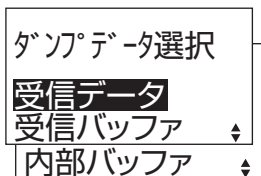
HEX ダンプ印字操作

設定モードメニューで、▲・▼・◀・▶キーを押して「HEX ダンプ印字」を選びます。

[ENTER] キーを押すとディスプレイに次のように表示します。



1. ダンプデータ選択画面



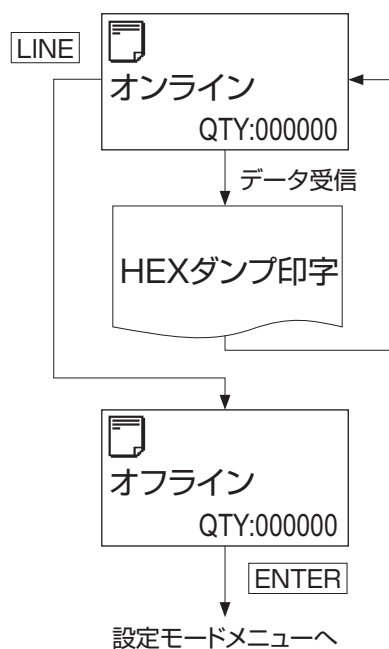
ダンプ印字するデータを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ダンプデータを選びます。
- 下記のダンプデータから選びます。
 - “受信データ” は、受信したデータをダンプ印字します。
 - “受信バッファ” は、受信済みの印字データ (1 アイテム分) をダンプ印字します。
 - “内部バッファ” は、内部バッファの設定値を印字します。
- [ENTER] キーを押すと次の設定画面に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと設定モードメニュー (☞ 同ページ) に変わります。

※ 受信データが無い場合は“受信バッファ”は選択できません。

【受信データの場合】

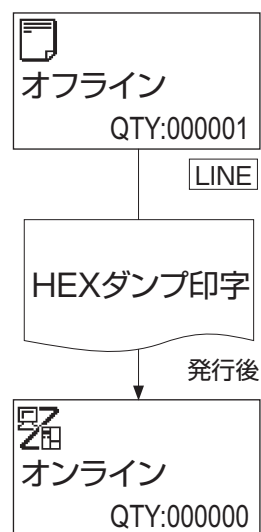
HEX ダンプ印字後、**LINE** キーを押し、オフライン状態にし、**ENTER** キーを押すと設定モードメニュー（☞ 92 ページ）に戻ります。



【受信バッファおよび内部バッファの場合】

LINE キーを押すと HEX ダンプ印字をおこないます。

印字終了後、自動でオンライン状態に戻ります。



本体情報モード

設定モードメニューで、▲・▼・◀・▶キーを押して「本体情報モード」を選びます。

[ENTER] キーを押すとディスプレイに次のように表示します。



1. ファームウェアバージョン表示

バージョン

SG112x
Ver.52.XX.XX.XX

ファームウェアバージョンを表示します。

● [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

2. 基板番号表示

基板番号

S/N 00000000

基板のシリアル番号を表示します。

● [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

3. LAN IP アドレス表示

LAN IPv4 アドレス

192.168. 1. 1

LAN インタフェースの IP アドレスを表示します。

● [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

DHCP 設定有効時に IP アドレス未取得の場合、「---.---.---.---」と表示します。

4. LAN MAC アドレス表示

LAN MAC アドレス

XX : XX : XX : XX : XX :
XX

LAN インタフェースの MAC アドレスを表示します。

● [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

5. 無線 LAN IP アドレス表示

WLAN IPv4 アドレス

192.168. 1. 1

無線 LAN インタフェースの IP アドレスを表示します。

本画面は、無線 LAN キット(オプション) 搭載時のみ表示します。

● [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

DHCP 設定有効時に IP アドレス未取得の場合、「---.---.---.---」と表示します。

6. 無線 LAN MAC アドレス表示

WLAN MAC アドレス
XX : XX : XX : XX : XX :
XX

無線 LAN インタフェースの MAC アドレスを表示します。

- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

7. BD アドレス表示

BD アドレス
XX : XX : XX : XX : XX :
XX

Bluetooth インタフェースの BD アドレスを表示します。

- [ENTER] キーを押すと次の画面に変わります。

テスト印字モード操作

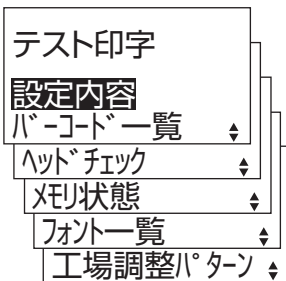
テスト印字をしてみましょう。
プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。

[FEED] キーを押しながら電源を入れます。

ディスプレイに次のように表示します。



1. テスト印字パターン選択

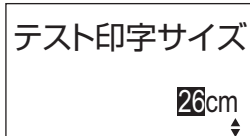


テスト印字パターンを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、テスト印字パターンを選びます。
- 下表のテスト印字をおこないます。
- [ENTER] キーを押すと設定が登録され、次の設定画面に変わります。

テスト印字パターン	印字内容	選択後の移動先
設定内容	本プリンタの設定内容を印字します。	
バーコード一覧	本プリンタに搭載しているバーコードを印字します。	テスト印字 サイズ選択①
ヘッドチェック	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。	
メモリ状態	本プリンタに搭載しているメモリ内容を印字します。	印字位置 オフセット位置 濃度調整
フォント一覧	本プリンタに搭載しているフォント内容を印字します。	
工場調整パターン	工場テスト印字をおこないます。	テスト印字 サイズ選択②

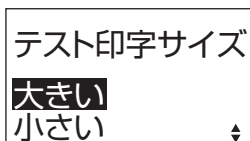
2. テスト印字サイズ選択①



テスト印字の用紙サイズ幅を選びます。
本画面はテスト印字項目で“設定内容”、“バーコード一覧”、“ヘッドチェック”を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでテスト印字サイズを設定します。
 - ・入力範囲は、13～26です。
- [ENTER] キーを押すと、印字位置、オフセット位置、濃度調整画面 (☞ 97 ページ) に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面 (☞ 95 ページ) に変わります。
- 初期値は、“26”です。

3. テスト印字サイズ選択②



テスト印字の用紙サイズ幅を選びます。
本画面はテスト印字項目で「工場調整パターン」を設定したときのみ表示します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“大きい”、“小さい”を選びます。
 - ・“大きい”は、26cm 幅のラベルサイズで印字します。
 - ・“小さい”は、13cm 幅のラベルサイズで印字します。
- [ENTER] キーを押すと、印字位置、オフセット位置、濃度調整画面 (☞ 97 ページ) に変わります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面 (☞ 95 ページ) に変わります。
- 初期値は、“大きい”です。

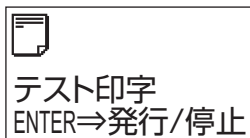
4. 印字位置、オフセット位置、濃度調整



印字位置、オフセット位置（ティアオフ位置、カット位置）、濃度を調整します。

- ◀・▶キーで、“印字位置調整”、“オフセット調整”、“濃度調整”を切替えます。
 - ・“印字位置”は、印字位置を調整します。
 - ・“オフセット位置”は、ティアオフ位置、カット位置を調整します。
 - ・“濃度”は、印字濃度を調整します。
- ▲キーを押した場合
 - ・印字位置、オフセット位置は、押すたびに0.25上がります。
 - ・濃度は、押すたびに1上がります。
- ▼キーを押した場合
 - ・印字位置、オフセット位置は、押すたびに0.25下がります。
 - ・濃度は、押すたびに1下がります。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、テスト印字発行画面に変わります。
- 印字位置、オフセット位置の設定範囲は、- 3.75 ~ +3.75mm です。
- 濃度調整の設定範囲は、00 ~ 99 です。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すとテスト印字パターン選択画面（☞ 95 ページ）に変わります。
- 印字位置、オフセット位置の初期値は、“+0.00mm”です。
- 濃度調整初期値は、“50”です。

5. テスト印字発行



テスト印字を開始します。

- [ENTER] キーを押すとテスト印字の発行を停止し、“印字位置、オフセット位置、濃度調整”画面に戻ります。

※テスト印字モードを終了するには、発行を停止した後プリンタの電源を切ってください。

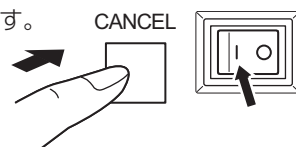
9 初期値設定

❗ ご注意！

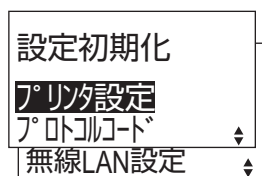
通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値は、本プリンタがはじめから記憶している設定値です。
本プリンタを初期化すると、プリンタに設定された印字条件を
本プリンタが記憶している設定値（☞ 100～102 ページ）に戻します。
プリンタの電源が入っていたら、電源を切ってください。

[CANCEL] キーを押しながら電源を入れてください。
ディスプレイに次のように表示します。



1. 初期化項目選択

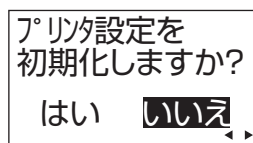


初期化するデータを選びます。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、“プリンタ設定”、“プロトコルコード”を選びます。
 - “プリンタ設定”は、プリンタ設定を初期化します。
 - “プロトコルコード”は、プロトコルコードを初期化します。
 - “無線LAN設定”は、無線LAN設定を初期化します。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。

2. 設定の初期化

【プリンタ設定の場合】



プリンタの設定を初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。
 - “はい”は、プリンタ設定情報を初期化し、次の画面に変わります。
 - “いいえ”は、初期化項目選択画面に戻ります。
- 初期値は、“いいえ”です。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面に変わります。

【プロトコルコードの場合】

プロトコルコードを
初期化しますか？
はい いいえ

プロトコルコードを初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、プロトコルコードを初期化し、次の画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、初期化項目選択画面（☞ 98 ページ）に戻ります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面（☞ 98 ページ）に変わります。

【無線 LAN 設定の場合】

無線LAN設定を
初期化しますか？
はい いいえ

無線 LAN 設定を初期化します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、“はい”、“いいえ”を選びます。
- [ENTER] キーを押すと設定値が登録され、次の画面に変わります。
 - ・“はい”は、無線 LAN 設定を初期化し、次の画面に変わります。
 - ・“いいえ”は、初期化項目選択画面（☞ 98 ページ）に戻ります。
- [CANCEL] キーまたは [FUNCTION] キーを押すと初期化項目選択画面（☞ 98 ページ）に変わります。

3. 初期化完了画面

設定情報を
初期化しました。
電源再投入

プリンタ設定／プロトコルコード／無線 LAN 設定初期化完了画面です。

初期値設定を終了するにはプリンタの電源を切ってください。

初期設定値一覧

設定項目	初期値	参照 ページ
プリンタ設定		
印字速度	4IPS (インチ / 秒)	43
印字濃度	5	43
基点補正	V:+0000 H:+0000	44
ゼロスラッシュ	無効	46
文字コード	JIS	47
漢字書体	ゴシック	47
プロポーショナルピッチ	無効	47
お知らせ機能設定	しない	48
お知らせ機能	プリンタ清掃	48
お知らせ機能 (有効 / 無効)	無効	49
プリンタ清掃 お知らせ距離	000m	49
プラテンローラー交換 お知らせ距離	000km	49
サーマルヘッド交換 お知らせ距離	000km	49
カッタユニット交換 お知らせ回数	00 万回	49
通信設定		
通信設定	しない	51
通信ポート設定	データポート	52
USB		
通信プロトコル	STATUS4	57
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	57
BCC チェック (STATUS5)	無効	57
RS-232C		
通信レート	19200	58
パリティビット	NONE	58
ストップビット	1BIT	58
データ長	8BIT	59
通信プロトコル	STATUS4	59
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	59
BCC チェック (STATUS5)	無効	60
受信バッファ (READY/BUSY、XON/XOFF)	マルチ	60
IEEE1284		
通信プロトコル	STATUS4	61
アイテム No. チェック	無効	61
BCC チェック	無効	61
受信バッファ	マルチ	62
IEEE1284 ACK 信号幅	0.05 μ s	62

設定項目	初期値	参照ページ
通信設定		
LAN/ 無線 LAN		
DHCP 設定	無効	63
RARP 設定	無効	63
IP アドレス	192.168.1.1	63
サブネットマスク	255.255.255.0	64
ゲートウェイアドレス (LAN)	000.000.000.000	64
ゲートウェイアドレス (無線 LAN)	192.168.001.002	64
ポート番号 1	01024	64
ポート番号 2	01025	65
ポート番号 3	09100	65
通信モード設定	Ad Hoc	65
SSID	SATO_PRINTER	66
チャンネル設定	06	66
通信プロトコル	STATUS4	67
アイテム No. チェック (STATUS5)	無効	67
BCC チェック (STATUS5)	無効	68
プリンタステータス返送タイミング (STATUS4)	ENQ	68
Bluetooth		
認証レベル	認証なし	69
PIN コード	0000000000000000	69
デバイス名	SATO_PRINTER	69
検索応答設定	有効	70
通信パラメータ (ISI) (検索応答：有効)	0800	70
通信パラメータ (ISW) (検索応答：有効)	0012	71
通信パラメータ (PSI)	0800	71
通信パラメータ (PSW)	0012	72
通信プロトコル	STATUS4	72
CRC チェック	無効	72
拡張設定		
濃度レンジ	A	80
動作モード自動設定	有効	81
動作モード	ティアオフ ^{*1}	81
バックフィード動作	印字後	83
排出カット動作	無効	83
印字方式	熱転写 ^{*2}	83
ピッチセンサ	有効	84
センサタイプ	反射	84
印字飛びチェック	無効	84
コマンドエラー表示設定	無効	85

*1 標準仕様の場合です。

*2 SG112R の場合のみです。

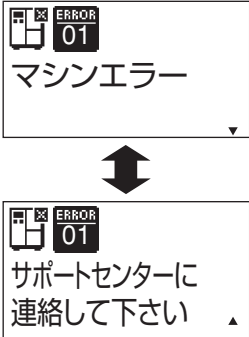
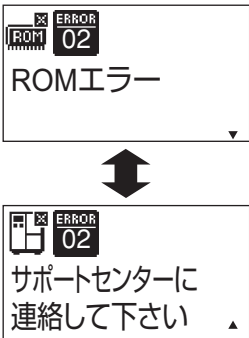
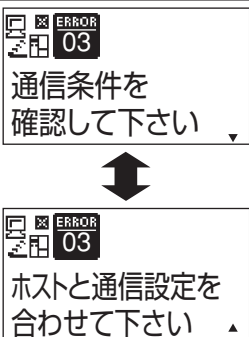
設定項目	初期値	参照 ページ
拡張設定		
ヘッドチェック	有効	85
外部信号	無効	87
カレンダー機能設定	しない	88
カレンダー設定	11/01/01 00:00	89
カレンダー入力確認	11/01/01 00:00	89
カレンダーチェック	有効	89
オートオンライン	する	90
初期フィード	しない	90
オンラインフィード	する	90
言語選択	日本語	91
プロトコルコード	STANDARD	91
LCD 節電時間設定	00分	91
エラー画面設定	処理なし	92





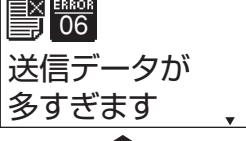
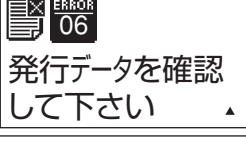
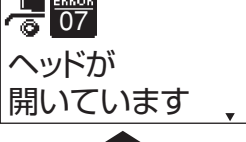
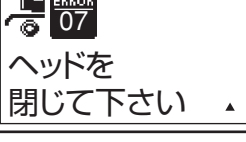
10 あれ？ どうしたのかな

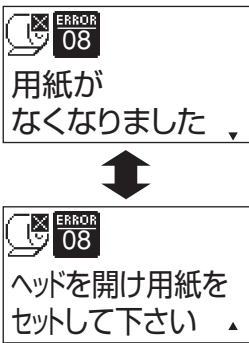

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本プリンタの操作をして、うまくいかなかったときはこの章をお読みください。

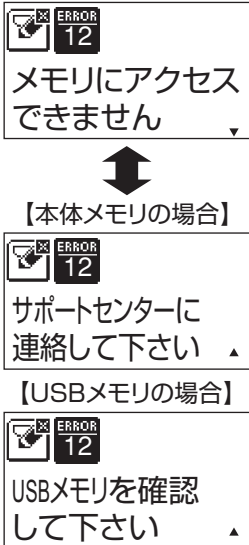

▲エラーメッセージがでたけれど

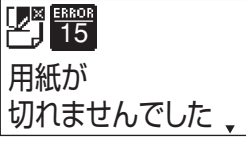
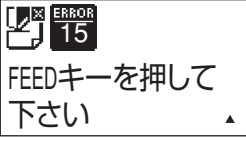
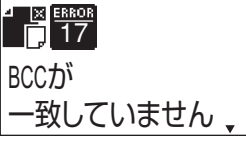


エラー画面と対処方法を約3秒間ごとに交互に表示します。▲キーと▼キーで画面を切り替えることができます。ただし、エラー番号10は、対処方法のみ表示します。

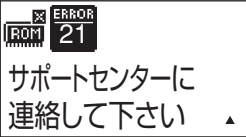
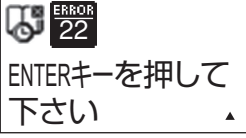
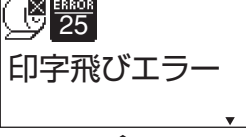
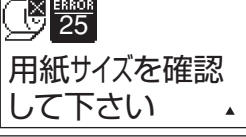
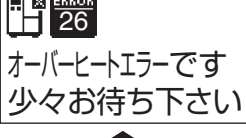
エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
01		<p>マシンエラーの画面です。</p> <p>原因：①基板の不良です。</p> <p>対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
02		<p>フラッシュ ROM エラーの画面です。</p> <p>原因：①ROMにアクセスできません。 ②書き込み回数がオーバーしています。</p> <p>対策：①② 販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
03		<p>パリティエラーの画面です。</p> <p>原因：①RS-232Cの通信条件が合っていません。 ②ケーブルの結線が正しくありません。</p> <p>対策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>



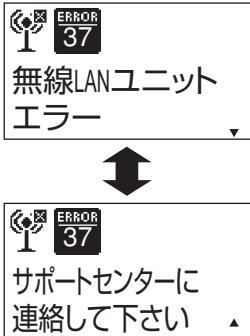
エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
04	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>オーバーランエラーの画面です。</p> <p>原因：① RS-232C の通信条件が合っていない。 ② ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対策：① 通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ② ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
05	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>フレーミングエラーの画面です。</p> <p>原因：① RS-232C の通信条件が合っていない。 ② ケーブルの接続が正しくありません。</p> <p>対策：① 通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ② ケーブルを正しく接続してください。</p> <p>警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
06	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>バッファオーバーの画面です。</p> <p>原因：① 受信バッファを越えるデータを受信しました。 ② 通信プロトコルが合っていない。</p> <p>対策：①②通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。</p> <p>警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>
07	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>ヘッドオープンの画面です。</p> <p>原因：① ヘッド部がロックされていません。 ② ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常です。</p> <p>対策：① ヘッド部をロックしてください。 ② 販売店、ディーラー、またはコンタクトセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー 番号	エラーメッセージ画面	説 明
08		<p>ペーパーエンドの画面です。</p> <p>原 因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。</p> <p>対 策：①②用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：ペーパーエンド</p>
09		<p>リボンエンドの画面です。</p> <p>原 因：①カーボンリボンがありません。 ②カーボンリボンが切れています。</p> <p>対 策：①②カーボンリボンを正しくセットしてください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：リボンエンド</p>
10		<p>センサエラーの画面です。</p> <p>原 因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 ③用紙蛇行 (用紙位置のセットが正しくありません)</p> <p>対 策：①販売店、ディーラー、またはコンタクトセンター にお問い合わせください。 ②用紙に合ったセンサを使用してください。 ③用紙を正しくセットしてください。</p> <p>警 告 音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
11		<p>ヘッドエラーの画面です。</p> <p>原 因：①サーマルヘッドに異常があります。</p> <p>対 策：①販売店、ディーラー、またはコンタクトセンター にお問い合わせください。</p> <p>警 告 音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
12		<p>メモリ書き込みエラーの画面です。</p> <p>原因：【本体メモリの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①書き込みに失敗しました。 <p>【USBメモリの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① USBメモリ書き込み中にUSBメモリが抜かれました。 ② 書き込みに失敗しました。 ③メモリがフォーマットされていません。 <p>対策：【本体メモリの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 販売店、ディーラー、またはコンタクトセンターにお問い合わせください。 <p>【USBメモリの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① USBメモリを挿入してください。 ② USBメモリを交換してください。 ③ USBメモリを初期化してください。 <p>警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p>
12 (SDカードの場合)		<p>SDカード書き込みエラーの画面です。</p> <p>原因：① SDカードが挿入されていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ② SDカードの容量が不足しています。 ③書き込みに失敗しました。 ④ SDカードがフォーマットされていません。 ⑤ SDカードがライトプロテクトされています。 <p>対策：① SDカードをSDカードスロットに挿入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ② SDカードの不要なデータを削除してください。 ③ SDカードを交換してください。 ④ SDカードをプリンタで初期化してください。 ⑤ SDカードのライトプロテクトを解除してください。 <p>警告音：長音1回 外部信号：マシンエラー</p> <p>SDカードの取り付け、取り外しをおこなうときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
14	 <p>↓</p> 	<p>ダウンロードデータエラーの画面です。</p> <p>原因：①不正なダウンロードデータを受信しました。 ②ダウンロード領域がありません。</p> <p>対策：①ダウンロードデータを確認してください。 ②ダウンロードデータサイズを確認してください。</p> <p>警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
15	 <p>↓</p> 	<p>カッタエラーの画面です。</p> <p>原因：①カッタ部で用紙詰まりが発生しています。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。</p> <p>対策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②[FEED] キーを押して、カッタ刃を所定の位置に戻してください。それでも表示されているときは、販売店、ディーラー、またはコンタクトセンターにお問い合わせください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
17	 <p>↓</p> 	<p>BCC チェックエラーの画面です。</p> <p>原因：①送信データ (1 アイテム分) に付加された BCC が異なっています。</p> <p>対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
18	 <p>↓</p> 	<p>アイテム No エラーの画面です。</p> <p>原因：①印字データ (1 アイテム分) のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス番号と合っていない。</p> <p>対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。</p> <p>警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明
21	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>漢字メモリエラーの画面です。 原因：①メモリから不正なデータを読み込みました。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
22	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>カレンダーエラーの画面です。 原因：①カレンダー日付が不正な数値になっています。 対策：①カレンダー日付を再設定してください。 警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>
25	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>印字飛びエラーの画面です。 原因：①印字飛びチェック設定(☞ 84 ページ)を有効にし、用紙サイズ指定コマンドで指定した用紙より長い用紙がセットされています。 ②印字飛びチェック設定を有効にし、セットした用紙より大きな値の印字データを受信しました。 対策：①用紙サイズを確認してください。 ②印字データを確認してください。 警告音：短音 3 回 外部信号：マシンエラー</p>
26	 <p style="text-align: center;">↕</p> 	<p>オーバーヒートエラーの画面です。 原因：①プリンタ内の温度が許容範囲を超えました。 対策：①一定時間放置し、プリンタ内の温度を下げてください。温度が下がるとエラーが解消され、自動で復帰します。 警告音：長音 1 回 外部信号：マシンエラー</p>

エラー番号	エラーメッセージ画面	説明																						
27		<p>コマンドエラーの画面です。 原因：①印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 「Caaa」は、エラーの発生したコマンドの位置を示します。「< bb >」は、エラーの発生したコマンド名を示します。「cc」は、エラーの発生した原因をコード番号で示します。コード番号は下記のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="714 421 1249 894"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>要 因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>コマンドが不正です。</td></tr> <tr><td>02</td><td>パラメータが不正です。</td></tr> <tr><td>03</td><td>グラフィック、外字データが不正です。</td></tr> <tr><td>04</td><td>指定した登録メモリ領域（カードスロット）が不正です。</td></tr> <tr><td>05</td><td>ライトプロテクトされているメディアに書き込みをしました。</td></tr> <tr><td>06</td><td>登録コマンドにおいて指定した番号が既に登録済みです。</td></tr> <tr><td>07</td><td>登録領域をオーバーしました。（メモリフル）</td></tr> <tr><td>08</td><td>データが登録されていません。</td></tr> <tr><td>09</td><td>指定した印字開始位置が印字領域外です。</td></tr> <tr><td>10</td><td>印字イメージが印字領域を超えました。（バーコードのみ）</td></tr> </tbody> </table> <p>対策：①印字データを確認してください。送信した SBPL コマンドを確認してください。エラー解除できないときは、販売店、ディーラー、またはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>	コード	要 因	01	コマンドが不正です。	02	パラメータが不正です。	03	グラフィック、外字データが不正です。	04	指定した登録メモリ領域（カードスロット）が不正です。	05	ライトプロテクトされているメディアに書き込みをしました。	06	登録コマンドにおいて指定した番号が既に登録済みです。	07	登録領域をオーバーしました。（メモリフル）	08	データが登録されていません。	09	指定した印字開始位置が印字領域外です。	10	印字イメージが印字領域を超えました。（バーコードのみ）
コード	要 因																							
01	コマンドが不正です。																							
02	パラメータが不正です。																							
03	グラフィック、外字データが不正です。																							
04	指定した登録メモリ領域（カードスロット）が不正です。																							
05	ライトプロテクトされているメディアに書き込みをしました。																							
06	登録コマンドにおいて指定した番号が既に登録済みです。																							
07	登録領域をオーバーしました。（メモリフル）																							
08	データが登録されていません。																							
09	指定した印字開始位置が印字領域外です。																							
10	印字イメージが印字領域を超えました。（バーコードのみ）																							
35		<p>CRC チェックエラーの画面です。 原因：①送信データ（1 アイテム分）に付加された CRC が異なっています。 対策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>																						
37		<p>無線 LAN ユニットエラーの画面です。 原因：①無線 LAN キットとの通信に失敗しました。 対策：①販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音3回 外部信号：マシンエラー</p>																						

【警告表示】

警告番号	エラーメッセージ画面	説明
1	  オンライン QTY:000000	リボンニアエンドの画面です。 原因：① プリンタにセットされているカーボンリボンの残量が少なくなりました。 対策：① カーボンリボンを交換してください。 警告音：なし 外部信号：リボンニアエンド
2	  オンライン QTY:000000	受信バッファニアフルの画面です。 原因：① 受信バッファの空き容量が少なくなりました。 対策：① 受信済みデータの解析が終了するまで、上位機器からデータを送信しないでください。 警告音：なし 外部信号：出力しない
3	  オンライン QTY:000000	コマンドエラーの画面です。 原因：① コマンドエラーを検出しました。 対策：① 印字データを見直してください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない
4	  オンライン QTY:000000	ヘッドエラーの画面です。 原因：① ヘッドチェック検出方法を“通常”に設定した状態でヘッド断線を検出し、ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続しています。 対策：① サーマルヘッドを交換してください。 警告音：なし 外部信号：出力しない
5	 ヘッド、プラテンの 清掃時期です	サーマルヘッド、プラテンローラーの清掃時期のお知らせ画面です。 原因：お知らせ設定機能で設定した清掃距離になりました。 対策：[ENTER] キーを押してください。 サーマルヘッドとプラテンローラーを清掃してください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない
6	 サーマルヘッドの 交換時期です	サーマルヘッドの交換時期のお知らせ画面です。 原因：お知らせ設定機能で設定したサーマルヘッド交換距離になりました。 対策：[ENTER] キーを押してください。 販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない
7	 プラテンローラー の交換時期です	プラテンローラーの交換時期のお知らせ画面です。 原因：お知らせ設定機能で設定したプラテンローラー交換距離になりました。 対策：[ENTER] キーを押してください。 販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない
8	 カッタユニットの 交換時期です	カッタユニットの交換時期のお知らせ画面です。 原因：お知らせ設定機能で設定したカッタユニット交換回数になりました。 対策：[ENTER] キーを押してください。販売店、ディーラーまたはコンタクトセンターにお問い合わせください。 警告音：短音1回 外部信号：出力しない

▲あれ？ STATUS LED が・・・

STATUS LED が点滅、または警告アイコンを表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ STATUS LED が緑で点滅

メッセージの意味

要 因：データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。

対応方法：このまま使用しても構いません。

プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲あれ？ LABEL LED が・・・

○ LABEL LED が赤で点灯

メッセージの意味

要 因：用紙がありません。または、用紙が正しくセットされていません。

対応方法：用紙を正しくセットしてください。

▲あれ？ RIBBON LED が・・・

RIBBON LED が点滅、または警告アイコンを表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○ RIBBON LED が赤で点滅

メッセージの意味

要 因：カーボンリボンが残り少なくなっています。

対応方法：このまま使用しても構いません。

印字途中でエラー 09 リボンエンドが表示された場合はカーボンリボンを交換してください。

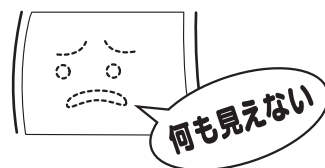
▲あれ？ ブザー音が・・・

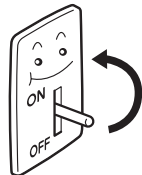
要 因：コマンド記述、または印字領域指定が誤っています。

対応方法：プログラムを見直してください。

▲こんなときは

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない

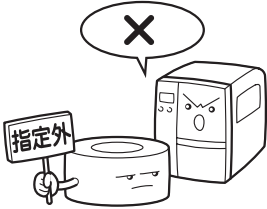
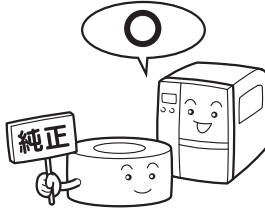


	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本プリンタに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードが傷んでいませんか？	電源コードを取替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店・ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
5	建物の電源ヒューズが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替えてください。
6	ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーを電源オンの位置に戻してください。

注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

紙送りはするけれど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	<p>サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついたりしていませんか？</p>	<p>サーマルヘッドが汚れていたら、付属のクリーニングペンで汚れを拭き取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*で拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ</p>
2	<p>本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？</p> 	<p>サトー製プリンタには、サトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。</p> 
3	<p>用紙センサが汚れていませんか？</p>	<p>用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ</p>
4	<p>カーボンリボンが正しく巻き取られていますか？</p>	<p>リボン巻取り部のノブが元の位置にセットされていないかったら、1度巻きつけたカーボンリボンを取り除き、ノブを元の位置に戻してセットしてください。</p>
5	<p>コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？</p>	<p>電源を入れ直してください。それでもメッセージが表示されたら、コンピュータから送られてくるデータの内容や通信条件の確認をしてください。</p>

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

きれいに印字しない




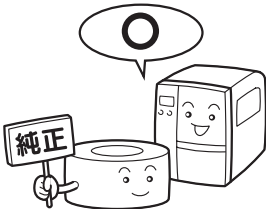
	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンが正しくセットされているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。
2	印字濃度が濃すぎたり、薄すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついたりしていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、付属のクリーニングペンで汚れを拭き取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります）。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*で拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	サトー製プリンタには、サトーのサプライ「純正」のご使用をお願いします。 

* プリントクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンを正しくセットしてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用のサトー製品の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	サトー製プリンタには、サトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。
		
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れを拭き取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。☞ 119 ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。それでもメッセージが表示されたら、コンピュータから送られてくるデータの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）の設定が誤っていませんか？	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）を正しく設定してください。

* プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際はサポートセンター、販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードを電源コンセントから抜いておこなってください。

11 オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお応えできるように、次のオプションを用意しております。

オプションの種類

● カッタ仕様（工場オプション）

用紙をカットするカッタユニットをプリンタに取り付けたタイプです。

☞ 27 ページをご覧ください。

● 発行ボタン

用紙を発行するためのスイッチです。

☞ 118 ページをご覧ください。

● 外部供給装置（UWG112）

ロール紙でラベルを発行するときに使います。

● 簡易スタッカ（STG112）

発行したラベルをスタックします。

最大積み高さは 35mm です。

● 高速カッタスタッカ（CTS110w）

発行したラベルをスタックします。

最大積み高さは 215mm です。

昇順でスタックします。

● 無線 LAN インタフェース

無線 LAN 通信ができます。

● SD カード

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。

● USB メモリ

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶することができます。

はじめて USB メモリを使用する場合は、初期化してください。初期化については、メモリモード（☞ 73 ページ）をご覧ください。

USB メモリのライフサイクルが短いため、推奨品はありません。32GB までの市販品をご使用ください。

ただし、以下の USB メモリは使用できません。

- ・ 指紋認証などのセキュリティ機能が付いた USB メモリ
- ・ コネクタ部分にシエルがない USB メモリ

なお、USB HUB を経由した接続には対応していません。

USB メモリを抜き挿しするときは、必ず本プリンタの電源を切ってください。

● RTC（リアルタイムクロック）キット

発行するラベルに時間を印字するためのカレンダーシステムです。

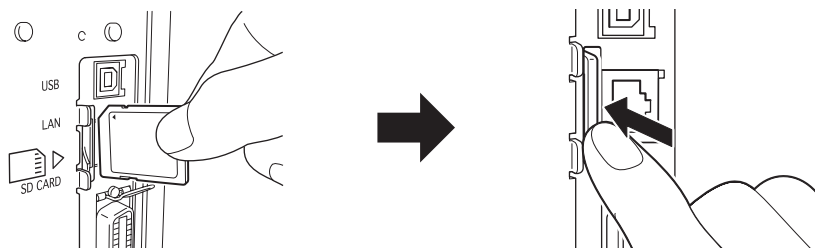
取り付けは、カスタマーエンジニアによる設置が必要です。

販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

SD カード取り付け・取り外し方

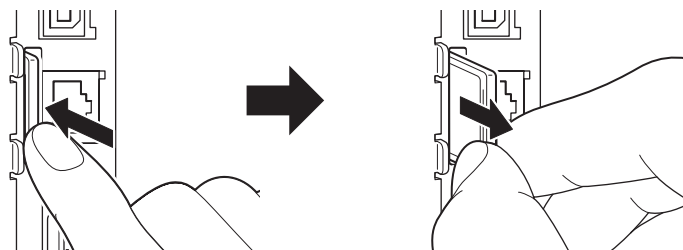
SD カードの取り付け方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の SD カードスロットに上下、挿入方向を確認し、SD カードを奥まで差し込みます。



SD カードの取り外し方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の SD カードスロットに挿入されている SD カードを奥まで押し、指を離すと SD カードが少しでますので、SD カードを取り出します。



⚠ 注意

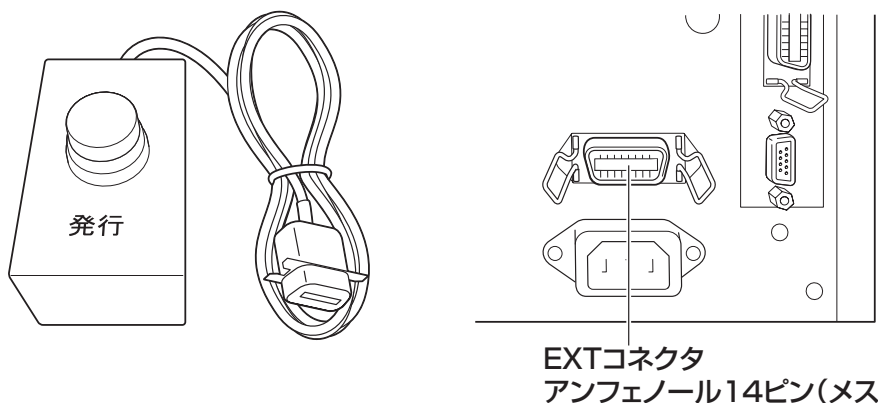
- SD カードの取り付け、取り外しをおこなうときは、本プリンタの電源を必ず切ってください。
SD カードや基板、プリンタ本体を破損するおそれがあります。
- SD カードは、サトー純正品のご使用をお願いします。

発行ボタンの接続

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ背面の EXT コネクタに発行ボタン装置のケーブルを接続してください。

外部信号の設定は、87 ページをご覧ください。

詳細は SBPL プログラミングガイドをご覧ください。SBPL プログラミングガイドについては販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。



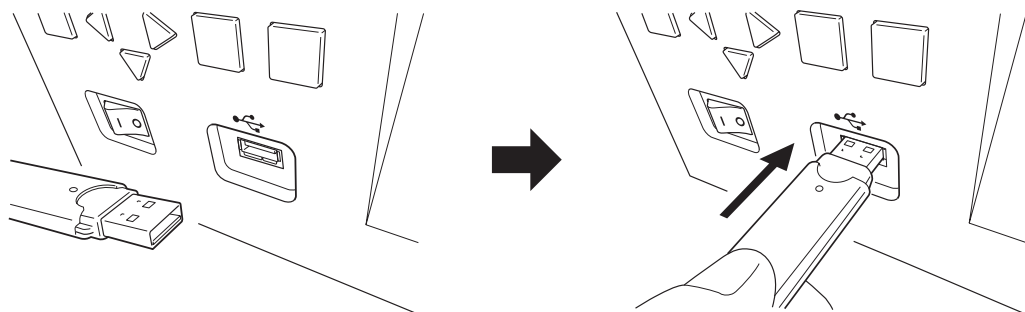
⚠ 注意

- 発行ボタンの取り付け、取り外しをおこなうときは、本プリンタの電源を必ず切ってください。基板、プリンタ本体を破損するおそれがあります。

USB メモリの接続

USB メモリの取り付け方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②プリンタ正面の USB スロットの上下を確認し、USB メモリを奥まで差し込みます。



USB メモリの取り外し方

- ①プリンタの電源を切ってください。
- ②挿入されている USB メモリを抜いてください。

12 毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、クリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。

⚠ 警告

◆感電防止

- サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、本プリンタの電源を必ず切ってください。感電するおそれがあります。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次のとおりです。

クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*でのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラー、用紙センサ
… 用紙 1 巻おき、あるいは用紙 150 メートル印字ごと
- その他（スライドガイド、フィードローラー、ラベルルート、リボンルートなど）
… 用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

ラッピングシート*でのお手入れ

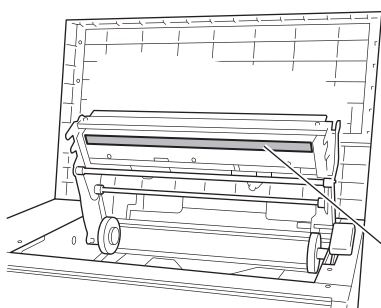
- 用紙 6 巻おき、あるいは用紙 900 メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

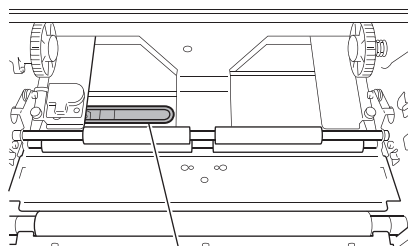
- 上記の清掃時期を目安に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*をご使用ください。
- ドライバなどの硬いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。
- 用紙・カーボンリボンを取り外してから清掃をおこなってください。

▲お手入れのしかた（1）

- クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*を使って、次の部分を清掃してください。



サーマルヘッド

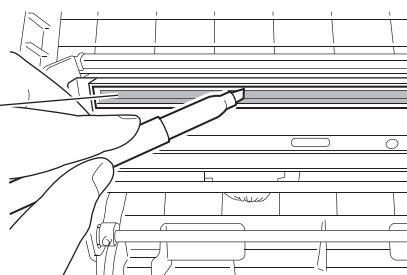


用紙センサ

*プリンタクリーニングセットとラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

- ① トップカバーとサーマルヘッドを開け、ラベル、カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッドが見えるようにします。

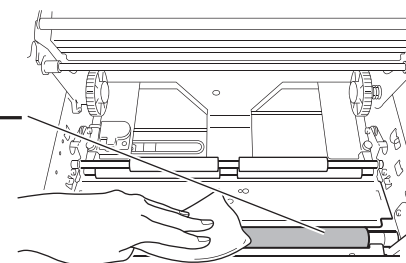
サーマルヘッド



- ② クリーニングペンで、サーマルヘッドの汚れを拭き取ります。

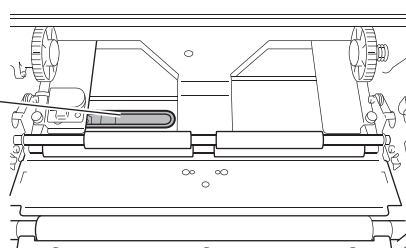
- ③ プリント清掃液を綿布に浸して、プラテンローラーの汚れを拭き取ります。ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

プラテンローラー



- ④ プリント清掃液を綿布に浸して、用紙センサの汚れを拭き取ります。

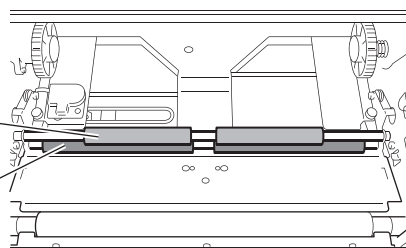
用紙センサ



- ⑤ ペーパーリッド (☞ 13 ページ) を取り外し、プリント清掃液を綿布に浸して、フィードローラーと上部のニップローラーの汚れを拭き取ります。

ニップローラー

フィードローラー



▲ お手入れのしかた (2)

- ・ ラッピングシート* を使って次の部分を清掃してください。
ラッピングシート* は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。

- ① トップカバーとサーマルヘッドを開け、ラベル、カーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分が見えるようにします。

- ② ラッピングシート* をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、サーマルヘッドを閉じます。

- ③ 両手でラッピングシート* を手前に引きます。

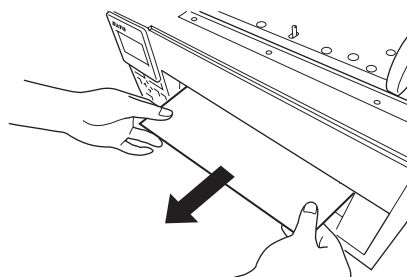
これを 2～3 回繰り返してください。

これでサーマルヘッドの付着カスが除去されます。カスが残っているときは、さらに数回繰り返してください。

- ④ サーマルヘッドをクリーニングペンで清掃し、ヘッド面をきれいにしてください。

*ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせください。

*ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付の「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。



13 基本仕様

モデル名	スキャントロニクス SG112T	スキャントロニクス SG112R
印字方式	感熱方式	熱転写方式／感熱方式兼用
ヘッド密度（解像度）	12dot/mm（305dpi）	
印字有効エリア	長さ 420mm × 幅 266.7mm	
印字速度	75～150mm/秒 3～6インチ/秒	
	ただし、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向 上：1.5mm以下、下：1.5mm以下（台紙含まず） 幅方向 左：1.5mm以下、右：1.5mm以下（台紙含まず）	
用紙種類／用紙形態	サトー製品の用紙“純正”のご使用をお願いします。 ロール紙、ファンフォールド紙	
用紙厚	80～210 μm（0.08～0.21mm）（自動給紙機能使用時は0.12mm以上）	
用紙サイズ	<p>標準 長さ 30～420mm（33～423mm） 幅 128～297mm（131～300mm）</p> <p>ティアオフ 長さ 40～420mm（43～423mm） 幅 128～297mm（131～300mm）</p> <p>カッタ 長さ 40～420mm（43～423mm） 幅 128～297mm（131～300mm）</p> <p>※（ ）は台紙サイズ ※ 印字中カットの場合、用紙の長さは55～420mmです。 ※ 発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。</p>	
用紙外形／支管サイズ	<p>ファンフォールド紙 最大積み高さ：100mm（プリンタと用紙を同じ高さの台に設置した場合）</p> <p>ロール紙 用紙外形：最大Φ200mm（8インチ） 支管内径：Φ76mm（3インチ）</p>	
リボン種類	—	サトー製品のカーボンリボン“純正”のご使用をお願いします。
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻方向	—	リボン長：最大300m リボン幅：145～273mm 巻き方向：裏巻き 巻取り方式：支管巻き
発行モード	連続、ティアオフ、ピッチセンサ無効、 カッタ（カッタ使用時）、印字中カット（カッタ使用時）	

モデル名	スキャントロニクス SG112T	スキャントロニクス SG112R
寸法/重量 (標準)	幅 475mm × 奥行き 313mm × 高さ 265mm / 約 19.2kg	幅 475mm × 奥行き 313mm × 高さ 319mm / 約 20.0kg
電源仕様	入力電圧：AC100～240V ± 10% 消費電力：ピーク時 203VA/199W (印字率 30%) 待機時 28VA/ 24W	
環境条件	使用温度：5～40℃ 湿度：30～80%RH (ただし、結露無きこと) 保存温度：-5～60℃ 湿度：30～90%RH (ただし、結露無きこと)	
インタフェース	①USB インタフェース ②RS-232C インタフェース ③IEEE1284 インタフェース ④LAN インタフェース ⑤Bluetooth インタフェース ⑥EXT インタフェース (アンフェノール14ピン) ⑦SD カードスロット ⑧USB スロット (タイプA)	
オプション	①カッタ仕様 (工場オプション) ②発行ボタン ③外部供給装置 (UWG112) ④簡易スタッカ (STG112) ⑤高速カッタスタッカ (CTS110w) ⑥無線LAN インタフェース (IEEE802.11b/g/n) ⑦ SD カード ⑧ RTC (リアルタイムクロック) キット	
操作	LCD：グラフィック LCD (横 128dot × 縦 64dot) バックライト付き LED：POWER (緑/橙)、ONLINE (緑)、STATUS (緑/赤)、LABEL (赤) RIBBON (赤) キー：LINE、FEED、↑、↓、←、→、ENTER、CANCEL、FUNCTION	
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、停止位置調整、ブザー音量調整	
用紙長検出センサ	アイマークセンサ (反射タイプ)、ギャップセンサ (透過タイプ)	
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128 (UCC/EAN128)、CODABAR(NW-7)、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、MSI、 カスタマバーコード、UPC アドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は RSS のことです。	

モデル名		スキャントロニクス SG112T	スキャントロニクス SG112R
2次元コード		QRコード、マイクロQR、セキュリティQR、PDF417、マイクロPDF、MAXIコード、GS1 データマトリックス (ECC200)、Aztecコード	
合成シンボル		EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、UPC-A Composite、UPC-E Composite、 GS1 DataBar Composite、 GS1 DataBar Truncated Composite、 GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、 GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、GS1-128 Composite ※ GS1 DataBar は RSS のことです。 ※ GS1-128 は UCC/EAN128 のことです。	
標準搭載 フォント	ビット マップ フォント	X20 文字 5 × 9dot (英数字、記号、カナ)	
		X21 文字 17 × 17dot (英数字、記号、カナ)	
		X22 文字 24 × 24dot (英数字、記号、カナ)	
		X23 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ)	
X24 文字 48 × 48dot (英数字、記号、カナ)			
		OCR-A 22 × 33dot (英数字、記号)	
		OCR-B 30 × 36dot (英数字、記号)	
		漢字 16 × 16dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可)	
		漢字 22 × 22dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可)	
		漢字 24 × 24dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可)	
		漢字 32 × 32dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可)	
		漢字 40 × 40dot (JIS 第 1、2、3、4 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可)	
		※ 日本語 (JIS × 0208 準拠)	
		ラスタライザフォント	
		CG Times (英数字、記号)、CG Triumvirate (英数字、記号)	
		アウトラインフォント	
		漢字 (JIS 第 1、2 水準)、英数字、記号、カナ	
印字方向 (文字・バーコード)		文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル 1 (0°)、パラレル 2 (180°)、 シリアル 1 (90°)、シリアル 2 (270°)	
バーコード比率		1 : 2、1 : 3、2 : 5、任意指定可能	
拡大倍率 (文字・バーコード)		文字：縦 1 ~ 12 倍、横 1 ~ 12 倍 バーコード：2 ~ 12 倍	

モデル名		スキャントロニクス SG112T	スキャントロニクス SG112R
搭載機能		①ステータス返送機能 ②グラフィック機能 ③連番機能 ④フォームオーバーレイ機能（電源断消去） ⑤外字登録機能 ⑥文字補正機能 ⑦白黒反転機能 ⑧罫線機能 ⑨ダンプリスト機能 ⑩アウトラインフォント機能 ⑪アウトライン変形機能 ⑫ JIS / シフト JIS / Unicode 切替機能 ⑬ゼロスラッシュ切替機能 ⑭フォーマット登録機能 ⑮円弧機能 ⑯自動給紙機能	
自己診断機能		①ヘッド切れチェック ②ヘッドオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④テスト印字 ⑤漢字データチェック ⑥カッタエラー（カッタ使用時）	①ヘッド切れチェック ②ヘッドオープン検出 ③ペーパーエンド検出 ④リボンエンド検出 ⑤リボンニアエンド検出 ⑥テスト印字 ⑦漢字データチェック ⑧カッタエラー（カッタ使用時）
ノイズ（EMC）規格		VCCI Class B	
無線規格	無線 LAN (2.4GHz)	電波法 2.4GHz 帯高度化省電力データ通信システムの認証	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- SD ロゴは商標です。

14 アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サポート業務をおこなっております。

保守サポート業務について、ご説明します。

保守サポートの種類一覧表

	部品代	技術料	出張料
保証期間内のサポート	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サポート	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます	契約料金に含まれます
スポットサポート	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後から5年間です。

(機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ <https://www.sato.co.jp/> でご確認ください。)

保守サポートの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修理にあたります。
持込み保守	SENDバック保守	故障が発生した場合、用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのメンテナンスセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修理にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サポートの説明

保証期間内の保守サポート

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入から6か月間を保証期間として無償修理をおこなっております。

サーマルヘッド、カッタ、プラテンローラーなどの消耗部品につきましては、弊社のサプライ品“純正”での走行距離50km(カッタ30万回)または納入から6か月間の早い方が無償修理対応となります。

保守契約サポート

最良の状態でご利用いただくために、弊社のカスタマー・エンジニア（CE）が責任を持って、製品の維持・管理をさせていただきます。

1. 優先サポート

故障発生時には、スポット保守サポートのお客様よりも優先的に対応させていただきます。

2. 全国ネットワークでスピーディーな対応

全国電話一本で、全国を網羅するサポートセンターから弊社 CE が素早く修理にお伺いします。

3. 予防定期点検の実施

定期点検はトラブルを未然に防ぎ、製品の安定稼働、さらにシステム全体の安定稼働に寄与します。

4. 契約料金以外の費用が発生しません

最適発行環境を守るための出張料や技術料、そして交換部品代までをひとつにパッケージ。予算が立てやすく、年間維持費を最小限に抑えることができます。

5. 豊富なバリエーション

お客様のご使用環境に応じた様々なプラン（保守対応・時間帯など）をご用意しております。

※ 保守契約の詳細につきましては、弊社の CE が直接お伺いのうえ、ご案内させていただきます。

スポットサポート

保守契約サポートを申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサポートを実施いたします。

故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理訪問までに日数がかかる場合がございますが、ご了承ください。

スポットサポートを実施した場合、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフトなど）は、壊れる場合があります（登録された各種データ・ソフトの保証はできません）。

特に預かり・持込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

MEMO

MEMO

DATA